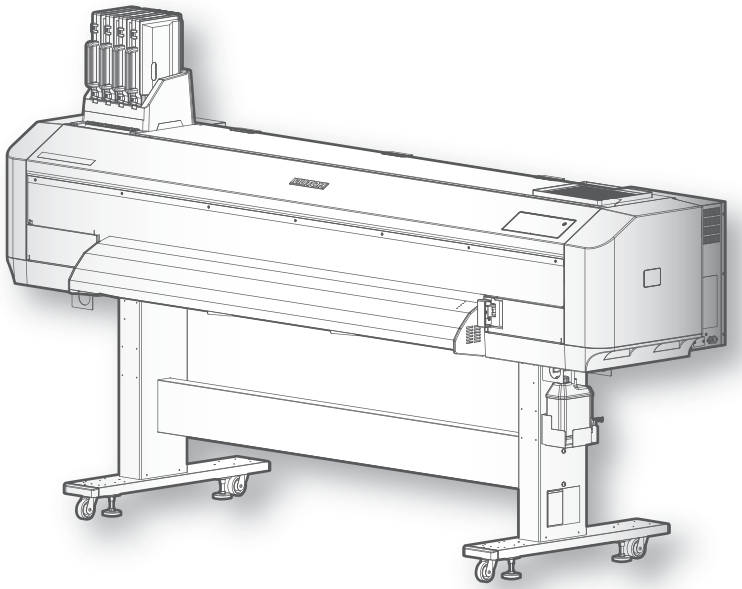
MUTOH

XPJ-1642WR

スタートアップガイド

開梱と初期設定



設置場所の確認.....2

開梱.....4

組み立て.....8

ケーブルの接続..... 14

セットアップ..... 16

テスト印刷..... 25

MUTOH Status Monitor のインストール..... 37

安全にお使いいただくために..... 38

お問い合わせ先..... 44

- 本書の内容の全部または一部を、無断で複写・複製することを禁止します。
- 本書の内容につきましては万全を期していますが、万一ご不明の点や、誤り、お気づきの点がございましたら、弊社またはお買い求めの販売店にご連絡ください。
- 本書に記載された取扱方法以外の手順によって生じた故障、事故などにつきましては、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- 記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

設置場所の確認

本製品は、以下のような場所に設置してください。

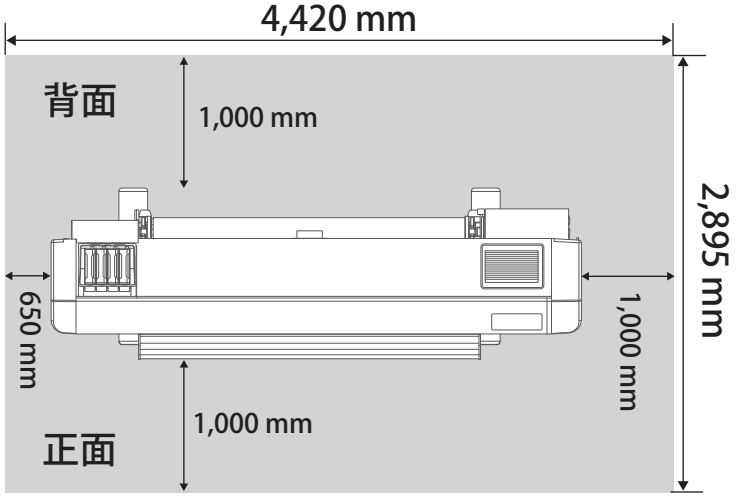
設置に適した場所

- 水平な場所
- 他の機器の振動が伝わらない場所
- 湿気やホコリの少ない場所
- 温度・湿度の変化が小さい場所
- 直射日光が当たらない場所
- 水などがかからない場所
- 風（冷暖房器具含む）が直接当たらない場所
- 電磁波などのノイズが少ない場所

⚠ 注　意	・かならず本製品の重量に耐えられる場所に設置してください。 本製品の重量は、スタンドを含めて、250 kg に達します（インク、廃液込みの重量）。 設置に適していない場所に設置すると、転倒・転落により、けがをする恐れがあります。 ・この機器は子供がいる可能性のある場所での使用には適していません。 ・作業場所は換気してください。 インクの臭気により健康に悪影響をおよぼす可能性があります。 頭痛・だるさ・めまいなどを感じた場合は作業を中断し、空気の新鮮な場所にて休息してください。 吐き気などが続くときは医師の診察を受けてください。

本製品を設置するときは、以下のスペースを確保してください。

最小設置スペース



本体サイズ

幅 x 奥行:	2,770 mm x 895 mm
高さ　:	1,611 mm *1
	1,712 mm *2

*1　インクパックケース（1,000 ml専用）装着時
ただし設置スペースの高さは1,760 mm
以上確保すること

*2　インクパックケース（1,000 ml / 2,200 ml）装着時
ただし設置スペースの高さは1,861 mm
以上確保すること

本製品は、以下の電源仕様と環境条件を満たした場所に設置してください。

電源仕様

- 電圧：
  AC 100V ～ 120V ±10%
  AC 200V ～ 240V ±10%
- 周波数：
  50/60 Hz ±1Hz
- 電流：
  AC 100V ～ 120V：11.5 A
  AC 200V ～ 240V：6.0 A

環境条件

- 本体動作環境：
  温度：20 ℃～ 32 ℃
  湿度：40% ～ 60%、結露なきこと
- 本体精度保証環境：
  温度：22 ℃～ 30 ℃
  湿度：40% ～ 60%、結露なきこと
- 変化率：
  温度：1 時間あたり 2 ℃以内
  湿度：1 時間あたり 5% 以内
- 本体保存環境：
  インク未充てん保存：6ヶ月以内
  温度：-20 ℃～ 60 ℃
  湿度 : 20% ～ 80%、結露なきこと

  インク充てん保存：
  温度：-5 ℃～ 35 ℃
  湿度 : 20% ～ 80%、結露なきこと
- インク保存環境：
  ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー (各 1,000 ml、2,200 ml)
  温度：-5 ℃～ 40 ℃、直射日光を避ける、未開封状態
  湿度：5% ～ 85%、結露なきこと

  洗浄パック（600 ml）
  温度：-10 ℃～ 40 ℃
  湿度：80% 以下、結露なきこと

開梱

開梱を行う前に、以下のことを確認してください。

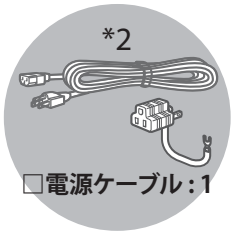
開梱準備

- 本製品の開梱、組み立て、設置作業は、かならず 4 人以上で行ってください。
- 本製品の設置と初期設定には、同梱品以外に次のものが必要です。

□コンピューター : 1

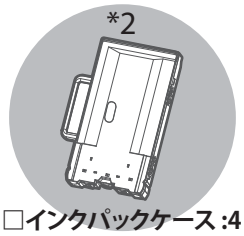
□メディア : 1

□ギガビット対応イーサネットケーブル : 1

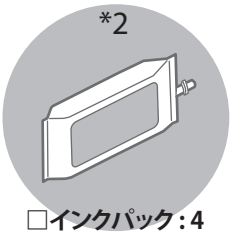


□電源ケーブル : 1

□プラスドライバー: 1



□インクパックケース :4
（1,000ml、または2,200ml）



□インクパック : 4
（1,000ml、または2,200ml）

*1 メディアの使用可能サイズは以下の通りです。

- 2 インチまたは 3 インチ紙管
- 外径 Φ200 mm 以下
- 用紙幅 500 mm 〜 1,625 mm
- 重量 30 kg 以下

*2 オプションまたはサプライ品です。

警　告	**かならず指定の電源ケーブルを使用してください。** **指定品以外の電源ケーブルを使用すると、感電・火災の原因となります。**

Important!

コンピューターは、以下の条件を満たすものをご使用ください。

- **OS：Windows 11、Windows 10**
- **CPU：Intel (R) Core (TM) i5 以上**
- **メモリ：8G バイト以上**
- **ネットワーク：**
  ギガビットイーサネットに対応したネットワークポート、Category 6 以降のギガビット対応イーサネットケーブルを使用

Note

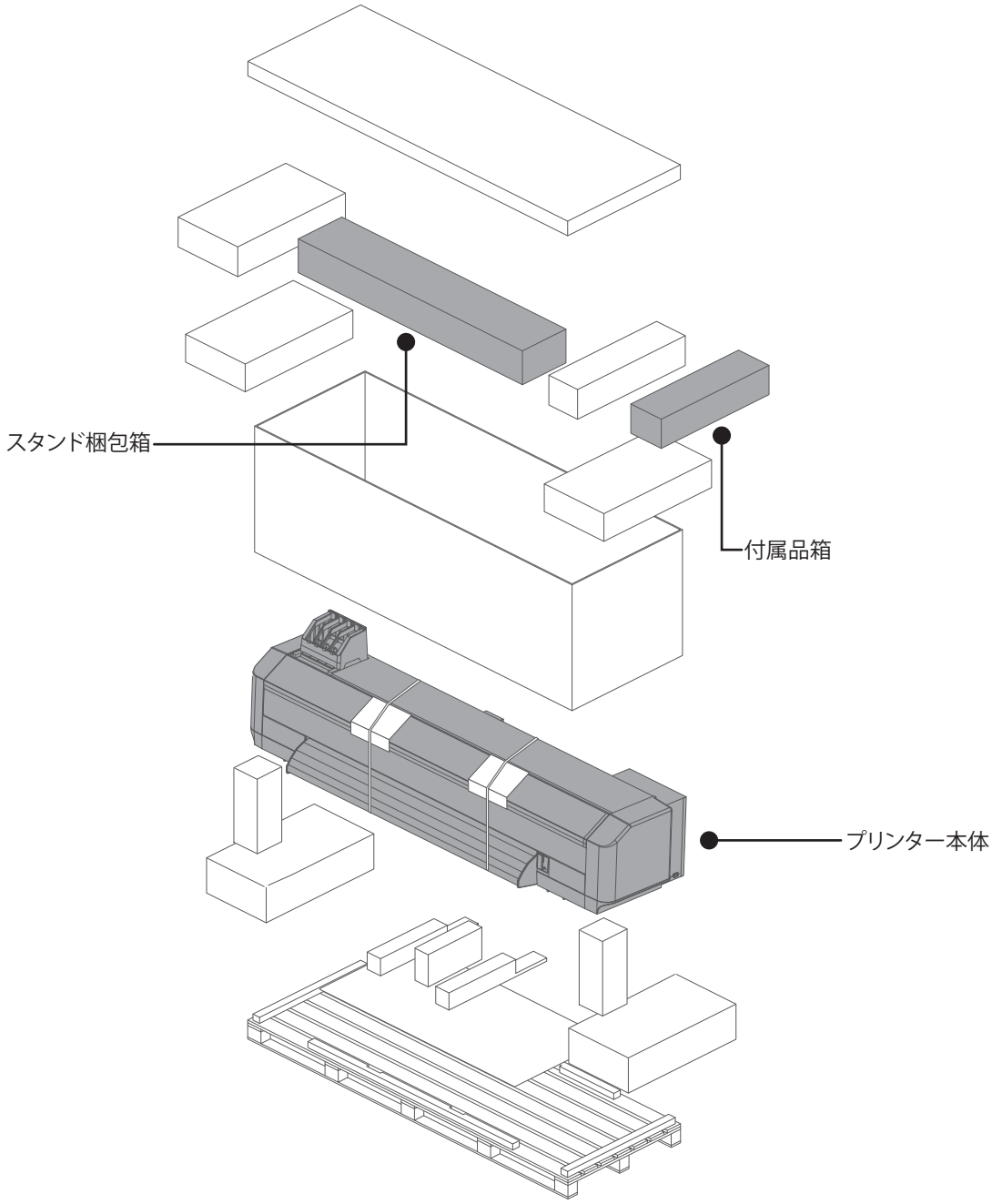
- 当社が提供するソフトウェアの各 OS に対するサポート期間は、マイクロソフトによる各 OS のサポート期間に準拠します。
- RIP ソフトウェアをご使用の場合は、RIP ソフトウェアの使用条件もご確認ください。

本製品の開梱を行います。

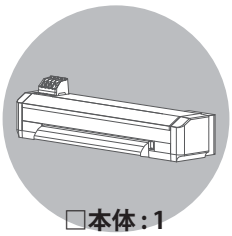
プリンターの開梱

⚠ 注　意	・プリンターを開梱または移動する場合は、かならず 4 人以上で作業してください。 ・本製品を梱包箱から取り出すときは、かならずビニールを外してください。 ビニールを付けたまま持ち上げると、手を滑らせて落下、破損させる恐れがあります。 ・プリンターは水平の状態を保ったまま移動してください。

[1]　梱包箱を開き、各部品を取り出します。



[2] 同梱品がすべてそろっているか、確認します。



□本体 : 1

□スタンド梱包箱 : 1

□スタートアップガイド :
日/英 各1

□ユーザー登録と
各種ダウンロードのお願い :
日/英 各1

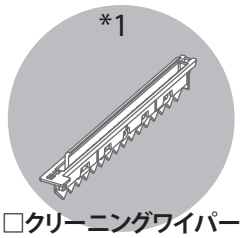
*1

□リユースバンド : 1

*1

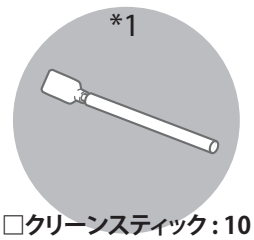
□廃液タンク : 1

*1



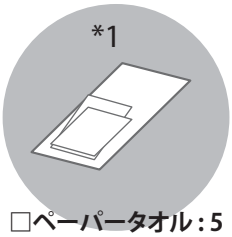
□クリーニングワイパー
(グレー、ヘッド高さHigh 用) : 1

*1



□クリーンスティック : 10

*1

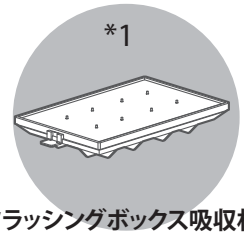


□ペーパータオル : 5

*1

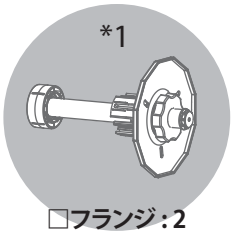
□ピンセット : 1

*1



□フラッシングボックス吸収材 : 5

*1

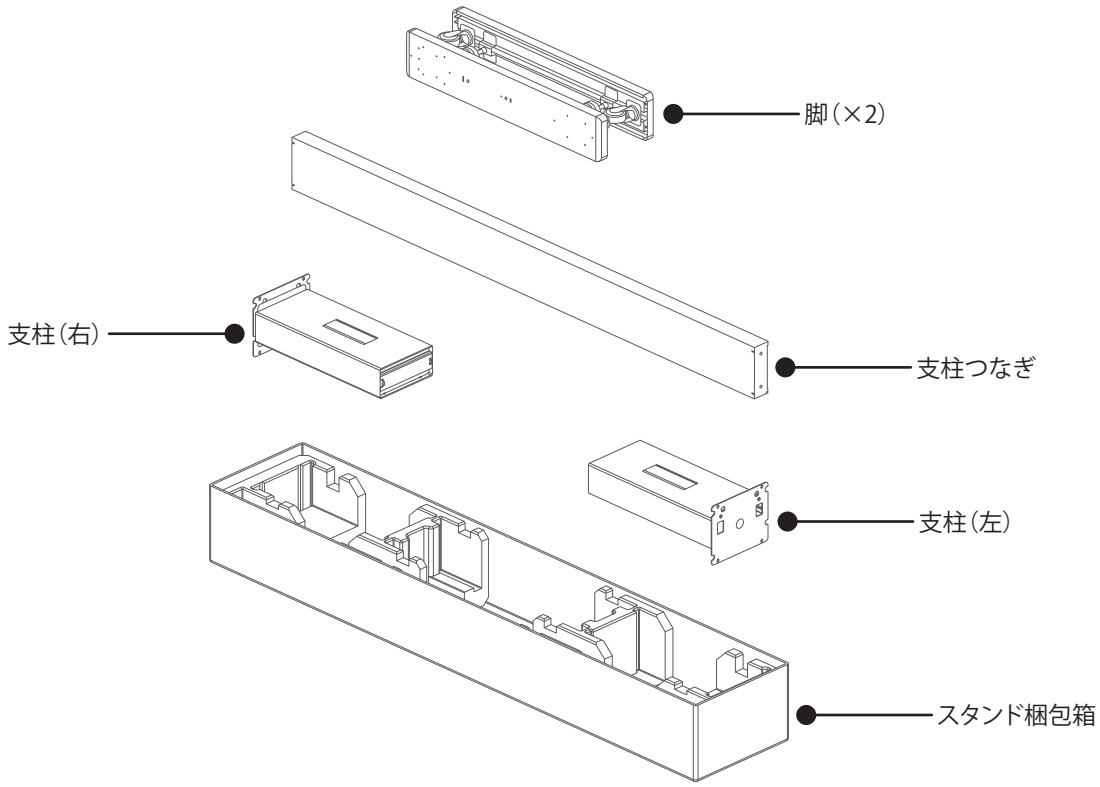


□フランジ : 2

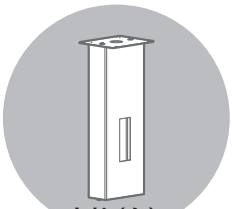
*1 付属品箱に入っています。

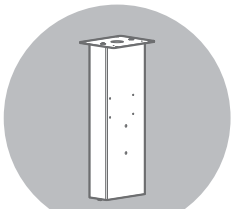
専用スタンド梱包箱の内容

[1] 梱包箱を開き、各部品を取り出します。

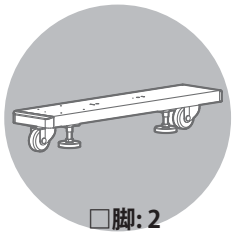


[2] 同梱品がすべてそろっているか、確認します。


□支柱（左）: 1


□支柱（右）: 1

□支柱つなぎ: 1

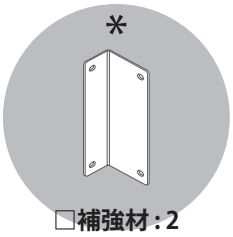

□脚: 2

□六角穴付きボルト: 8

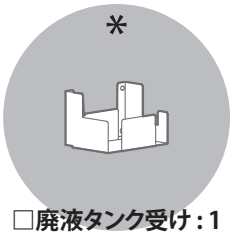
□バネ座金: 8

□六角レンチ: 1

□ネジ: 12


□補強材: 2

□蝶ボルト: 8


□廃液タンク受け: 1

Note

上のイラストで「＊」印がついているものは、付属品箱に入っています。

組み立て

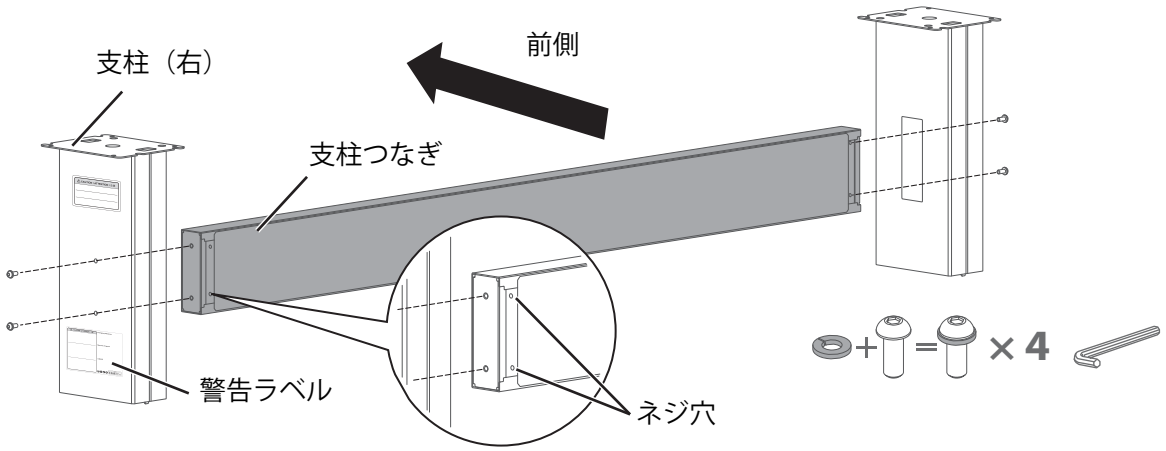
以下の手順に従って、スタンドを組み立てます。

スタンドの組み立て

⚠ 注　意	スタンドを組み立てるときは、かならず 2 人以上で作業してください。

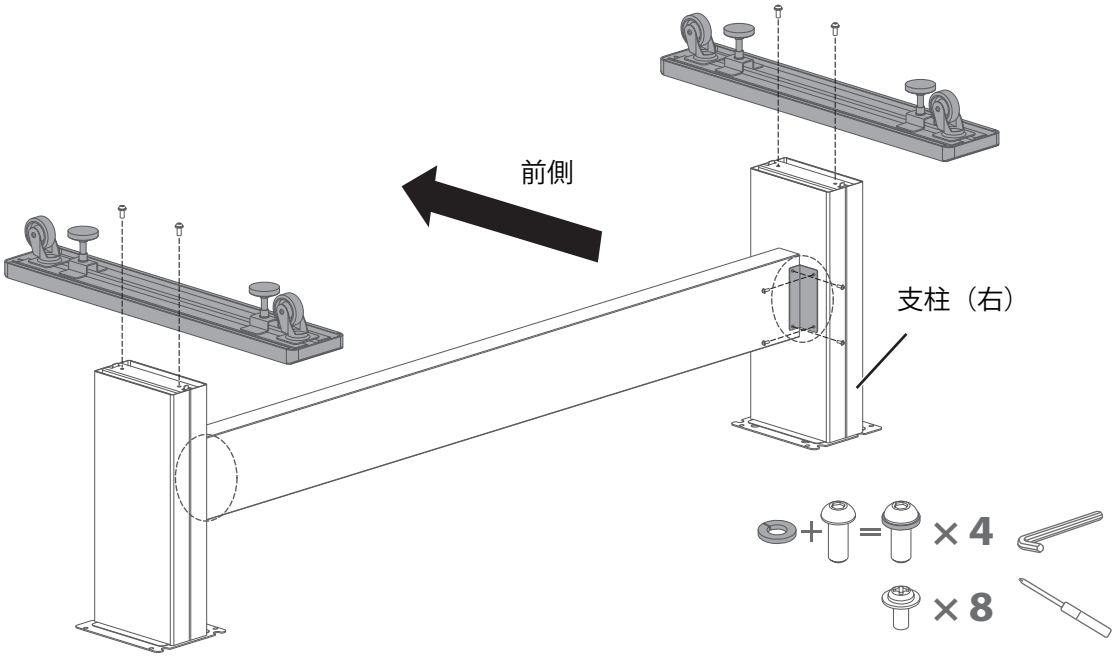
[1]　支柱に支柱つなぎを取り付けます。

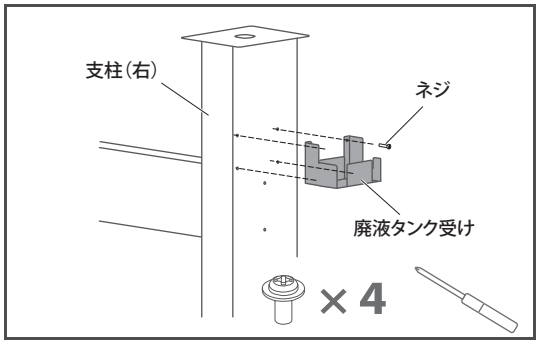
・支柱つなぎの切欠き面（ネジ穴がある面）が後側にくるように取り付けます。
・警告ラベルが貼られているほうが、支柱（右）です。
・バネ座金を取り付けた六角穴付ボルト（4 本）で固定します。



[2]　支柱に脚を取り付けます。

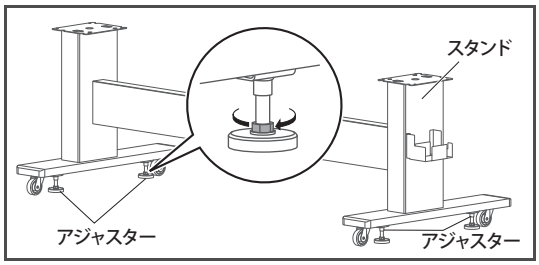
・脚上面のネジ穴（4 か所）が前側に来るように取り付けます。
・バネ座金を取り付けた六角穴付ボルト（4 本）で固定します。
・補強材（2 個）をネジ（8 本）で固定します。



[3] 

廃液タンク受けを支柱（右）に、ネジ（4 本）で固定します。

[4] スタンドを揺らすなどして、各部品がしっかり固定されているか確認します。

[5] 

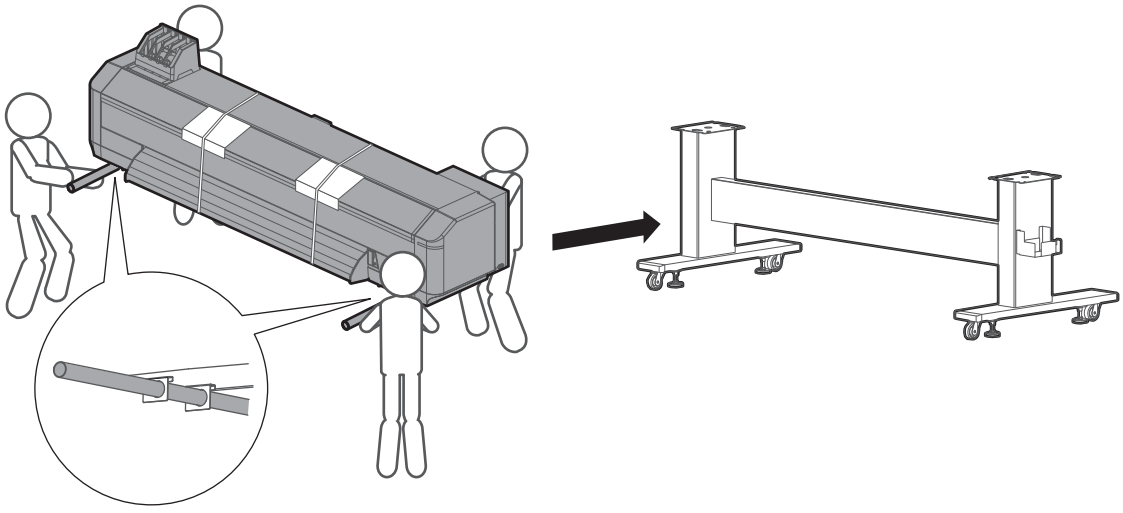
専用スタンドのアジャスター（4 箇所）を図の方向に回転させ、専用スタンドを固定します。

以下の手順に従って、スタンドにプリンターを取り付けます。

プリンターの取り付け

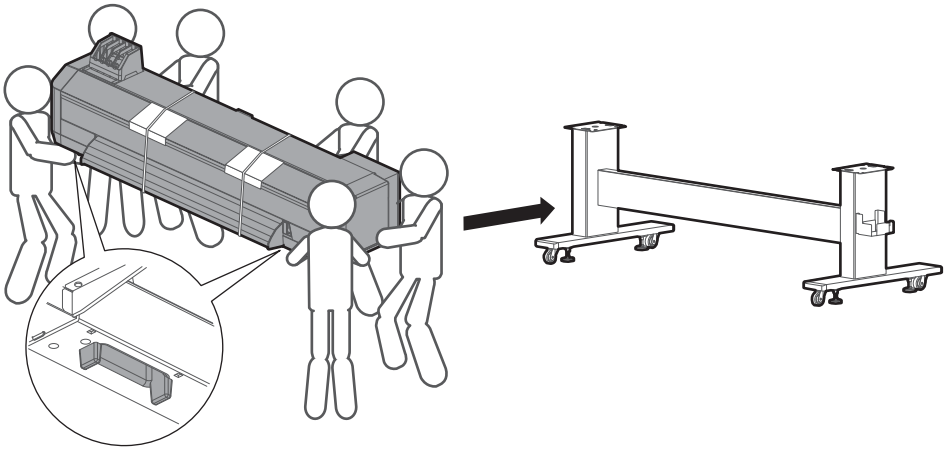
⚠ 注　意	・プリンターを開梱または移動する場合は、かならず 4 人以上で作業してください。 ・本製品を梱包箱から取り出すときは、かならずビニールを外してください。 ビニールを付けたまま持ち上げると、手を滑らせて落下、破損させる恐れがあります。 ・プリンターは水平の状態を保ったまま移動してください。

[1] プリンターを 4 人以上で持ち上げ、専用スタンドの上に載せます。
・プリンターを持つときは、搬送棒をプリンター下部のガイド穴に通して、搬送棒を使って持ち上げます。

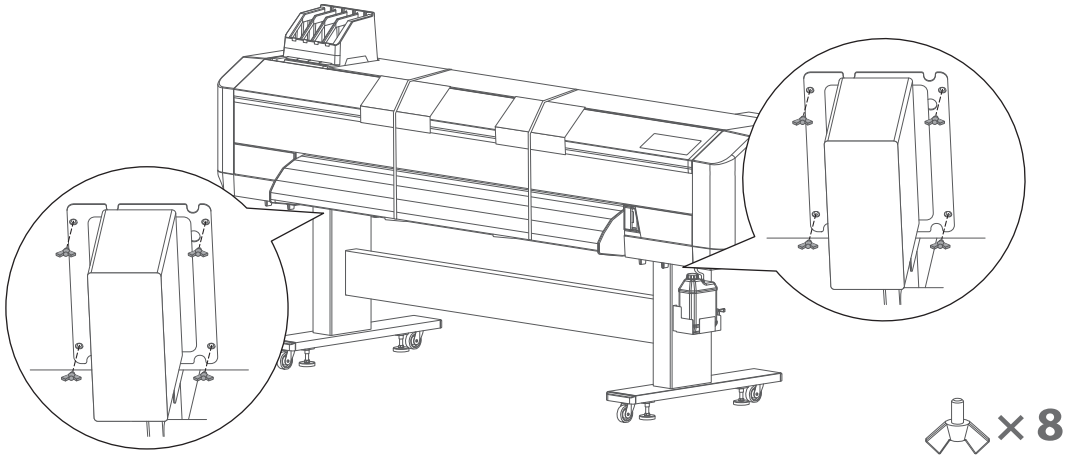


（搬送棒が準備できない場合）プリンターを 6 人以上で持ち上げ、専用スタンドの上に載せます。

・プリンター前側を持つときは、下面のくぼみを利用します。



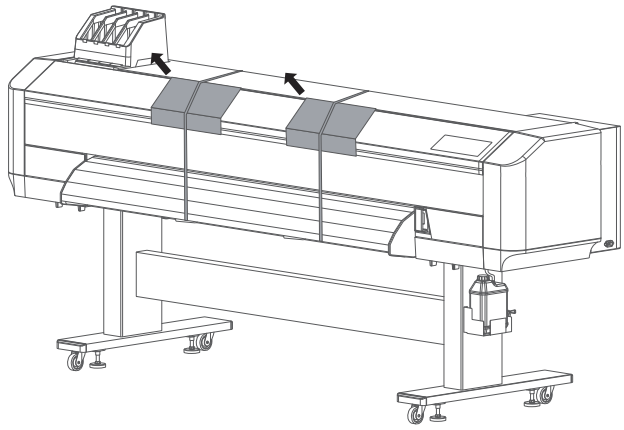
[2] 製品と専用スタンドを、蝶ボルト（8 本）で固定します。



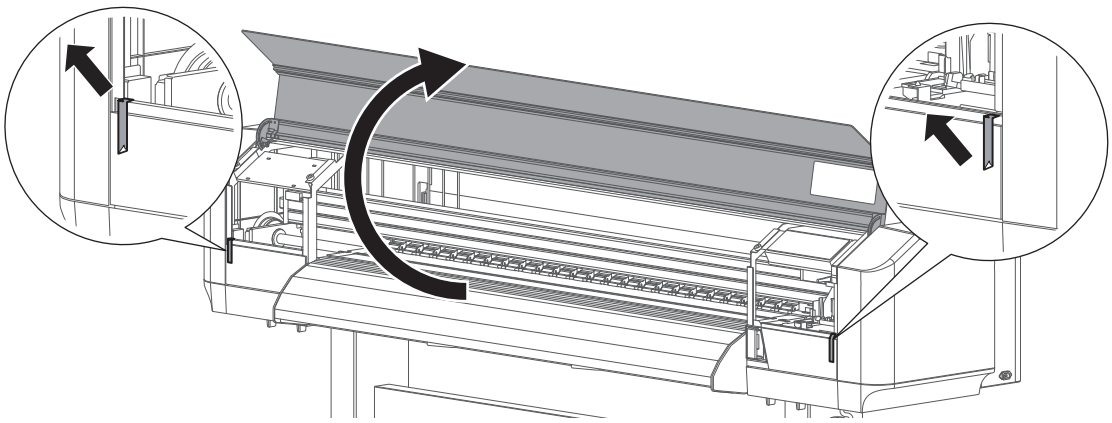
以下の手順に従って、プリンターの保護材を取り外します。

保護材の取り外し

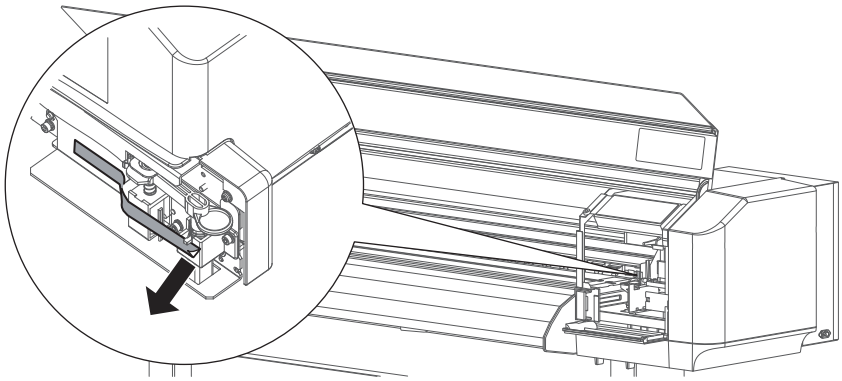
[1] フロントカバーの保護材を取り外します。



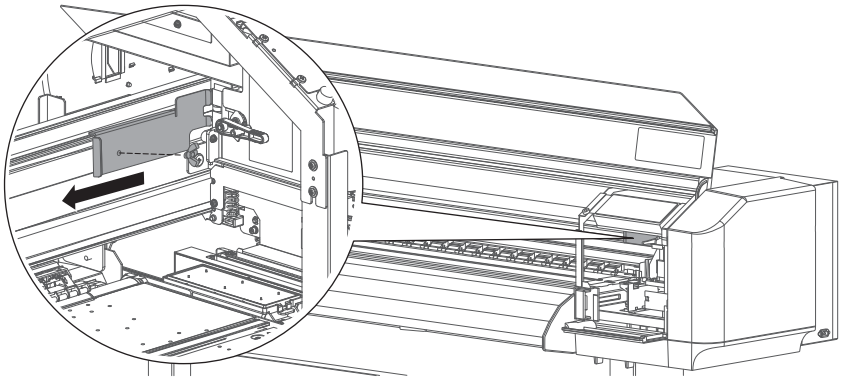
[2] フロントカバーを開け、メンテナンスカバーのテープを剥がします。



[3] カッターキャップのテープを剥がします。



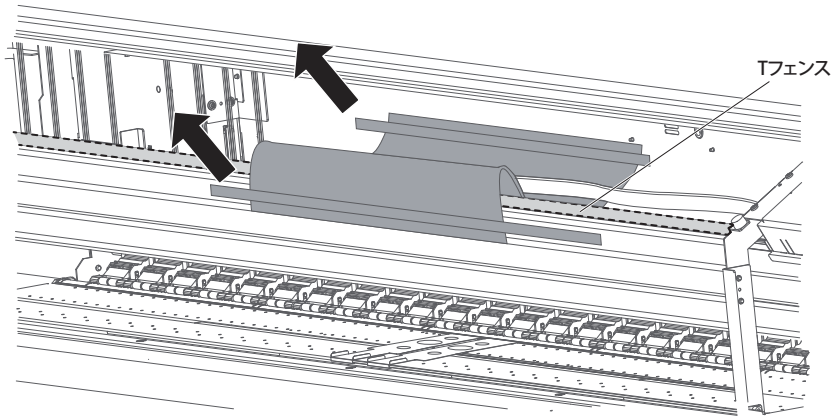
[4] ツマミネジを取り外し、キャリッジ固定材を取り外します。



Important!

キャリッジ固定材とネジは、輸送するときに再利用しますので保管しておいてください。

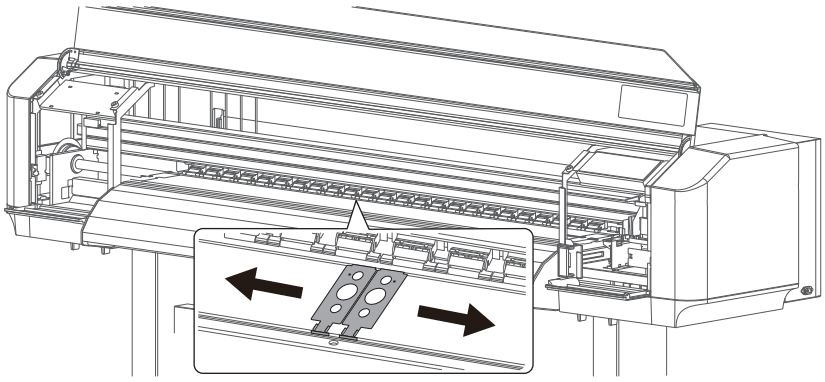
[5] テープを剥がし、フロントカバー奥にある保護材を取り外します。



Important!

保護材を取り外す際に、T フェンス（透明な部品）には絶対に触れないでください。
T フェンスがゆがむと印刷品質に悪影響がでる場合があります。

[6] テープを剥がし、エッジホルダーを左右の端に移動します。



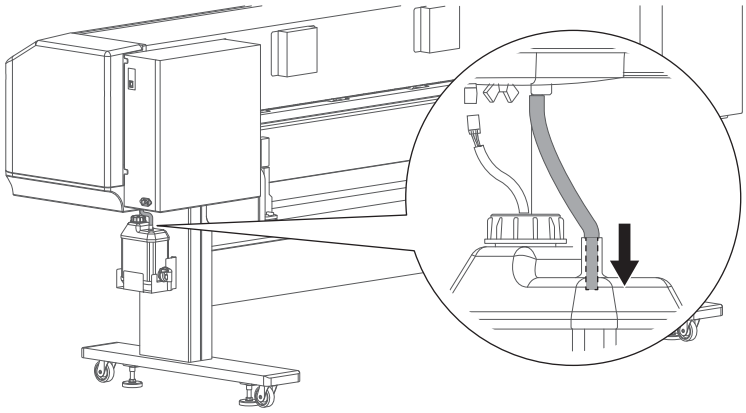
[7] 各部に貼られているテープを全て剥がします。

以下の手順に従って、廃液タンクを取り付けます。

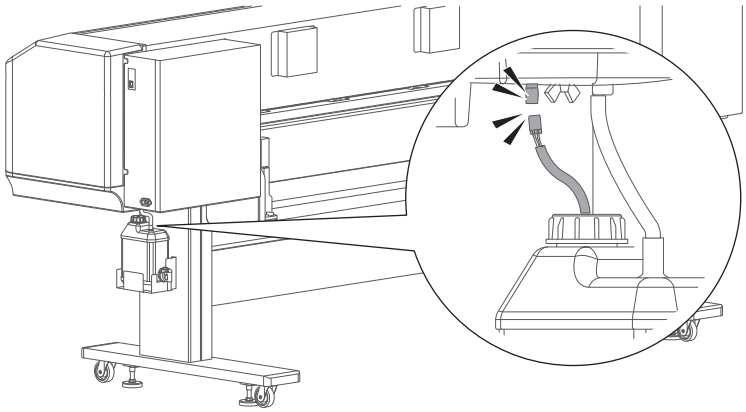
廃液タンクの取り付け

[1] 廃液タンク受けに、廃液タンクを載せます。

[2] 廃液チューブを、廃液タンクの口に差し込みます。



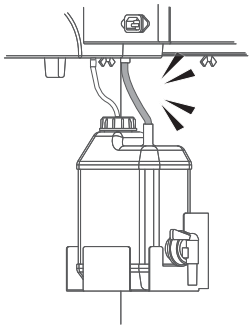
[3] 廃液センサケーブルを、廃液センサコネクタに差し込みます。



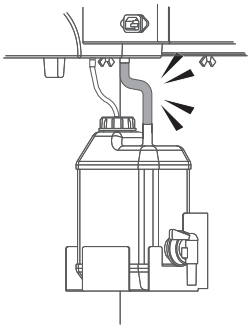
Important!

- 廃液チューブが、廃液タンクの口にしっかりと差し込まれていることを確認してください。
  しっかりと差し込まれていない場合、インク漏れが発生する恐れがあります。
- 廃液タンクに廃液チューブを取り付けた後に、廃液チューブに折れ曲がっている箇所がないことを確認してください。
  折れ曲がっている箇所がある場合、インク漏れが発生する恐れがあります。

よい



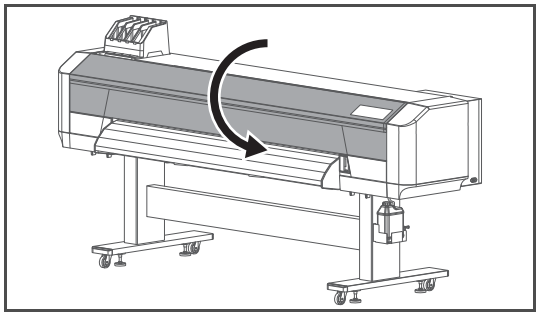
わるい



ケーブルの接続

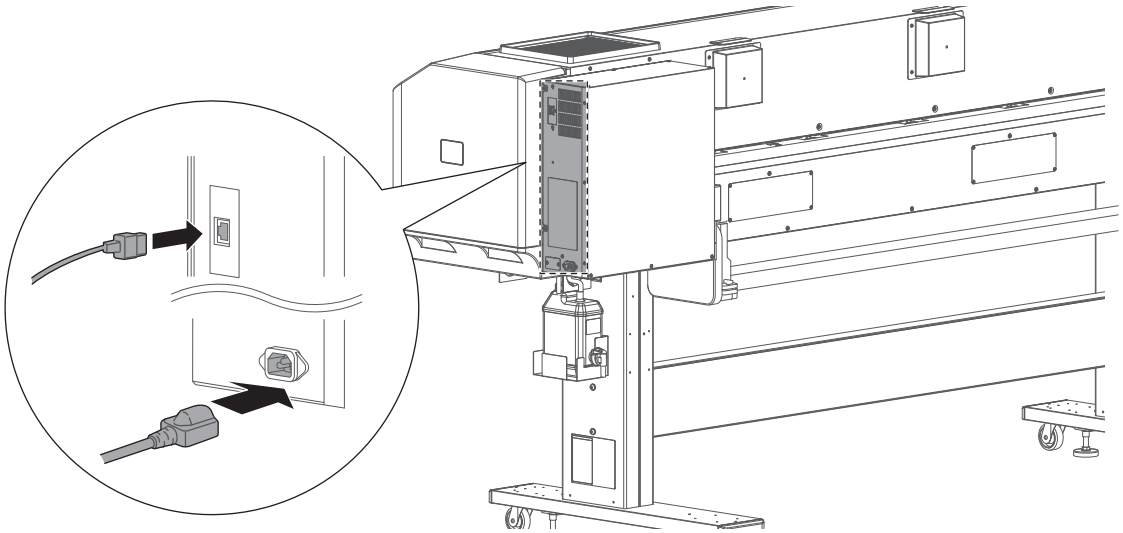
以下の手順に従って、電源ケーブルとイーサネットケーブルを接続します。

電源ケーブルとイーサネットケーブルの接続

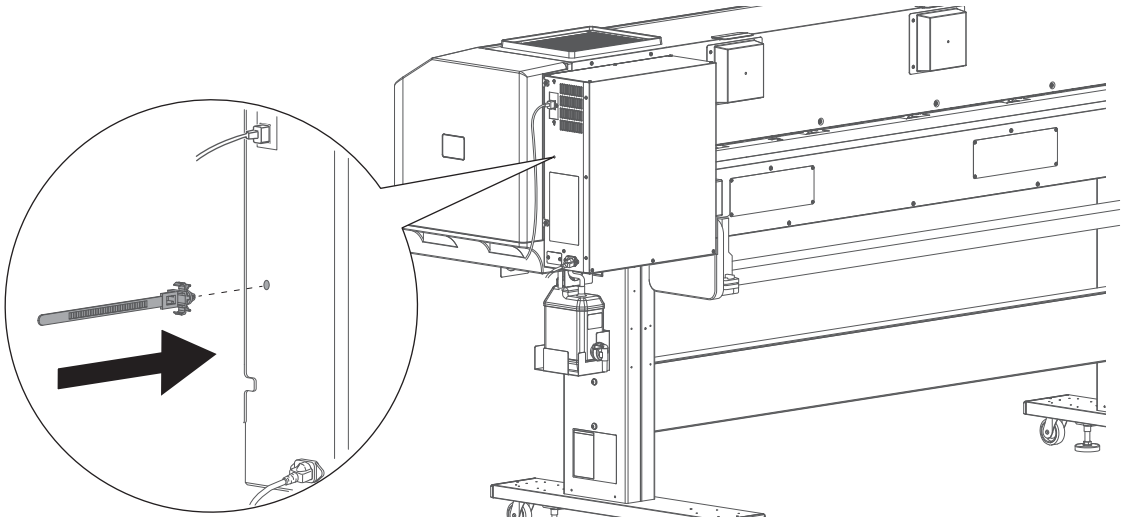
[1] 

フロントカバーが閉じていることを確認します。

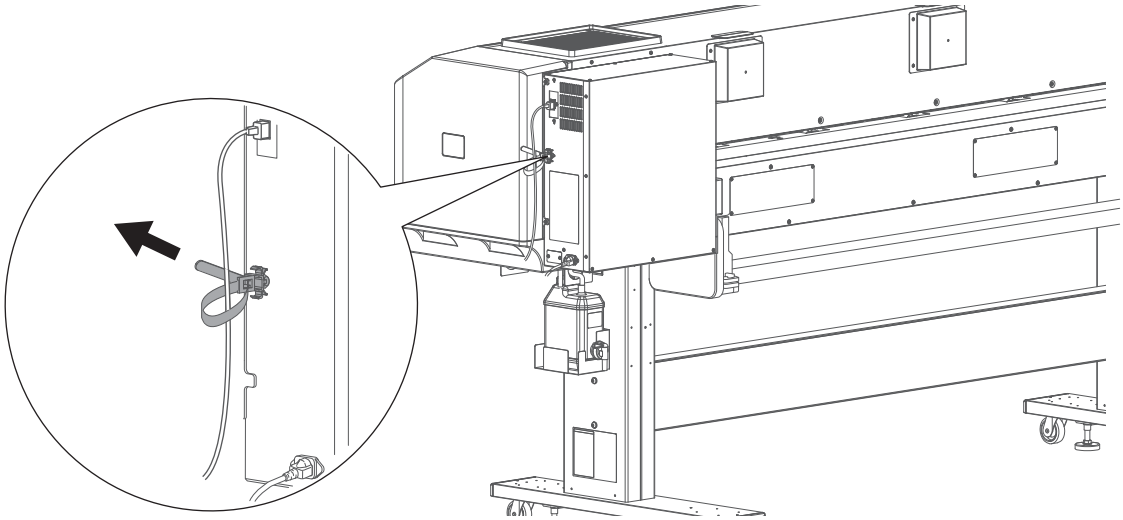
[2] 電源ケーブルとイーサネットケーブルをプリンターに接続します。



[3] リユースバンドをプリンターに取り付けます。

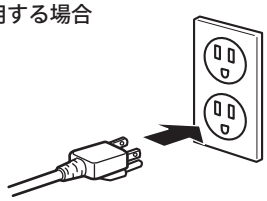


[4] イーサネットケーブルをリユースバンドでプリンターに固定します。

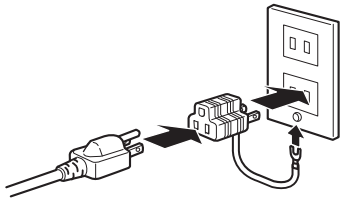


[5] 電源ケーブルのプラグをコンセントに正しく差し込みます。

3芯プラグを使用する場合



3芯2芯変換コネクタプラグを使用する場合



セットアップ

以下のフローに従って、初回のセットアップを行います。

セットアップの流れ

初期設定を行う

操作パネルの表示言語、単位、本製品のネットワークを設定します。

アクティベーションを行う

本製品のアクティベーションを、操作パネルで行います。

初期充てん

本製品にインクパックケースを取り付け、プリントヘッドをインクで満たします。

メディアのセット

ノズルチェックを印刷するメディアをセットします。

ノズルチェックとクリーニング

ノズルチェックを印刷し、ノズル抜けがなくなるまでヘッドクリーニングを行います。

コンピューターとの接続

プリンターの IP アドレスを、操作パネルで入力します。
MUTOH Status Monitor (MSM) のインストールを行い、MSM 上で設定を行います。

セットアップ完了!

操作パネルの使い方

操作パネルはタッチパネルになっており、操作が有効なキーが発光するようになっています。

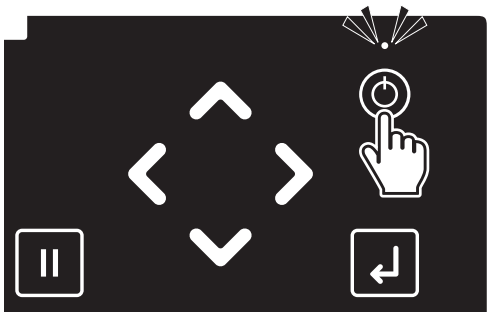
- タップ：キーに軽く触れて、すぐに指を離します。
- ロングタッチ：キーに触れた状態を保ちます。

プリンターを起動して、ディスプレイ表示の設定を行います。

Step 1　電源オン～初期設定

[1]　フロントカバーが閉じていることを確認します。

[2]

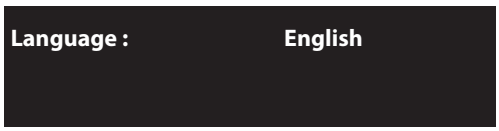


操作パネルの電源ボタンを 2 秒以上押します。
・電源ボタン上部の LED および各キーが点灯します。

Note

LED が点灯したら、電源ボタンを離してください。

[3]



キーをタップして、「Japanese」を選択します。

（[Enter] キー）をタップします。

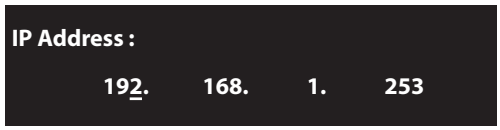
[4]

（[Enter] キー）をタップします。

[5]

（[Enter] キー）をタップします。

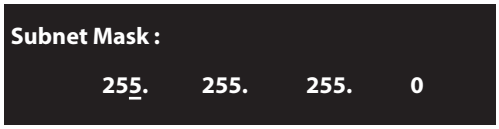
[6]



本製品の IP アドレスを設定します。
・ キー：設定値を増加させます。
・ キー ：設定値を減少させます。
・ キー：カーソルが前の設定値に移動します。
・ キー：カーソルが次の設定値に移動します。

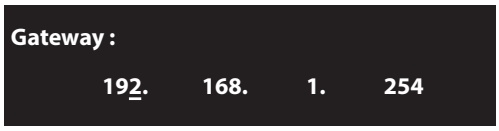
入力後、（[Enter] キー）をタップします。

[7]



本製品のサブネットマスクを設定します。
・ キー：設定値を増加させます。
・ キー ：設定値を減少させます。
・ キー：カーソルが前の設定値に移動します。
・ キー：カーソルが次の設定値に移動します。
すべての設定値を入力してください。
入力後、 ([Enter] キー）をタップします。

[8]



本製品のゲートウェイを設定します。
・ キー：設定値を増加させます。
・ キー ：設定値を減少させます。
・ キー：カーソルが前の設定値に移動します。
・ キー：カーソルが次の設定値に移動します。
すべての設定値を入力してください。
入力後、 ([Enter] キー）をタップします。

[9]

本製品が初期動作を開始します。

操作パネルに従って、アクティベーションを行います。

Step 2　アクティベーション

左のメッセージが表示されたらアクティベーションを行ってください。
アクティベーションには 2 種類の方法があります。お好みの方法をお選びください。
☞本書 「操作パネルから設定する場合」P. 19
☞本書 「インターネットから設定する場合」P. 19

Note

上記のメッセージが表示されているときに ([Home] キー) タップすると、IP アドレスなどの初期設定をやり直すことができます。

操作パネルから設定する場合

[1]

左のメッセージが表示されたら、 （[Enter] キー）をタップします。

Note

上記のメッセージが表示されているときに ([Home] キー) をタップすると、IP アドレスなどの初期設定をやり直すことができます。

[2]

16 桁のアクティベーションコードを入力します。

- キー：設定値を増加させます。
- キー ：設定値を減少させます。
- キー：カーソルが前の設定値に移動します。
- キー：カーソルが次の設定値に移動します。

入力後、 （[Enter] キー）をタップします。

Note

アクティベーションコードは販売店から E メールなどで入手してください。

[3]

左のメッセージが表示されたら、電源ボタンを 2 秒以上押して、電源をオフにします。

・「デンゲンシャダンチュウ」のメッセージが表示されたら、電源ボタンを離してください。

しばらく待ってから電源ボタンを 2 秒以上押して、再起動します。

インターネットから設定する場合

左のメッセージが表示されたら、「プリンタ・アクティベーションガイド」に従ってアクティベーションを行ってください。

Note

「プリンタ・アクティベーションガイド」とアクティベーションコードは、下記の URL から MUTOH Club へアクセスし、「新規登録」からユーザー登録を行うと入手できます。

https://mutoh-club.com/mutoh/guser/

以下の手順に従って、初期充てんを行います。

Step 3　初期充てん

必要なもの：

- インクパック：4 本
  ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー
- インクパックケース：4 つ

Important!

初期充てんする場合は、ヘッドの高さを変えず初期状態の高さ「Low1」のまま、行ってください。

1. 初期充てん

[1]

左のメッセージが表示されたら、 （[Enter] キー）をタップします。

Note

上記のメッセージが表示されているときに キーをタップすると、IP アドレスなどの初期設定をやり直すことができます。

[2]

（[Enter] キー）をタップします。

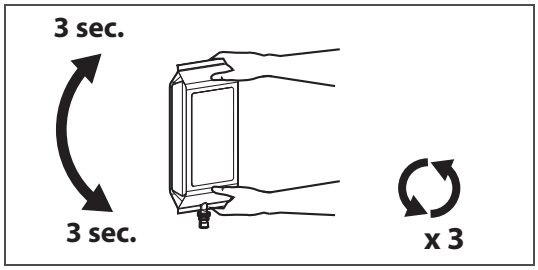
Note

洗浄をする場合は、 キー、または キーをタップして、「センジョウ シマスカ？ ハイ」を選択します。

左のメッセージが表示されます。

インクパックケース（1,000 ml 専用）の場合

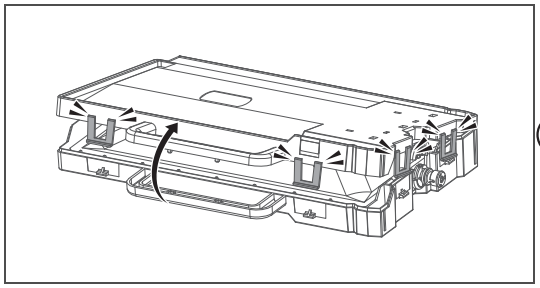
[1]



新しいインクパックを用意し、下記の方法でインクをかくはんします。

- 差し込み口を上に向けて 3 秒待ちます。
- 次に差し込み口を下に向けて 3 秒待ちます。
- 3 回繰り返します。

[2]

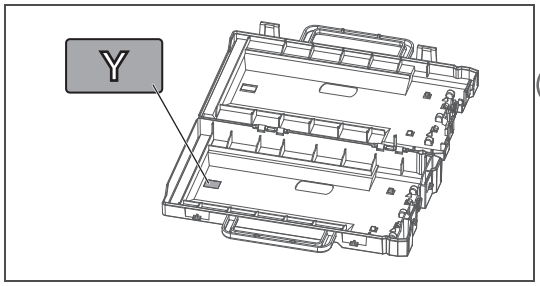


インクパックケースの留め具（4ヵ所）を外し、インクパックケースを開きます。

Important!

留め具を外すときは、無理な力を加えないでください。留め具が破損する原因となります。

[3]

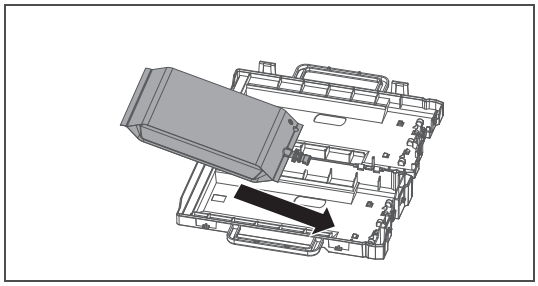


インクパックケースを開いて、インクラベルを貼ります。

Note

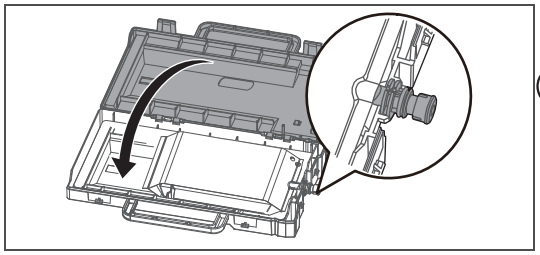
- インクラベルはインクパックケースに付属しています。
- インクパックケース内側のラベル貼り付け位置（左図のへこみ部分）にインクラベルを貼ります。

[4]



インクパックを取り付けます。

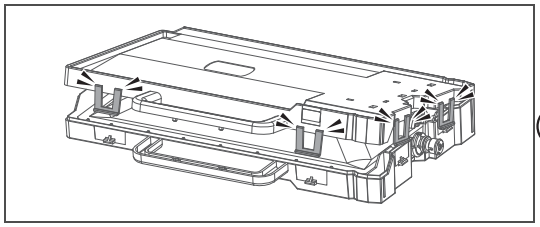
[5]



インクパックケースを閉じます。

Important!

インクパックの口が固定されていることを確認してください。
固定されていない場合、インクパックが正しく認識されません。

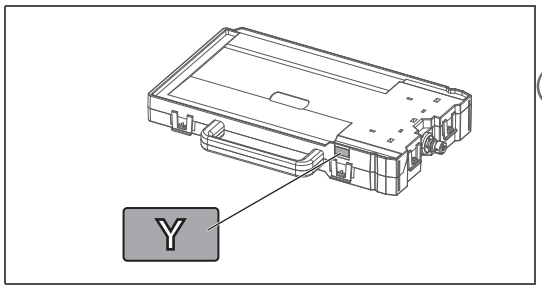


インクパックケースの留め具（4ヵ所）をしっかりと固定してください。

Important!

留め具がすべて固定されていることを確認してください。
固定されていない場合、インク漏れの原因となる恐れがあります。

[6]



インクパックケースの外側にインクラベルを貼ります。

Note

・インクパックケース外側のラベル貼り付け位置（左図のへこみ部分）にインクラベルを貼ります。

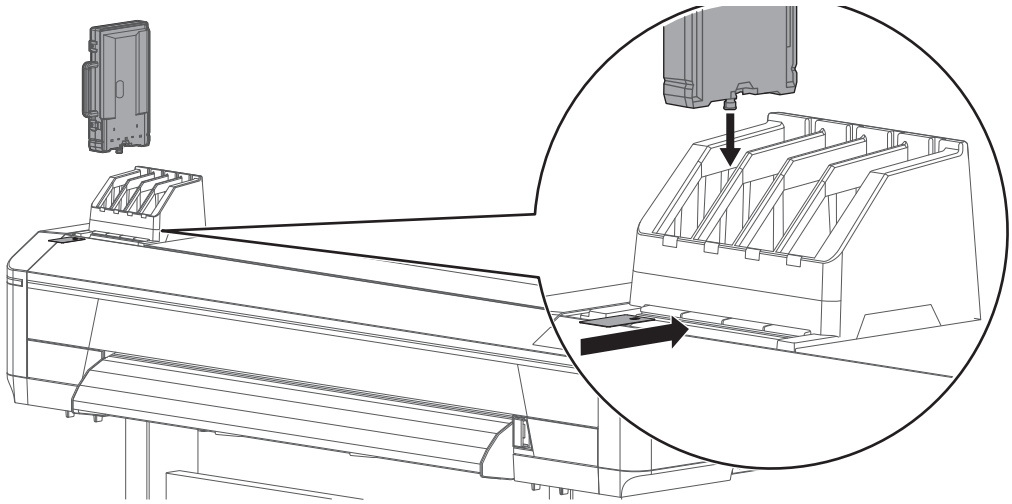
・ケース内側に貼ったラベルと色を合わせてください。

[7] インクパックケースと S/C カードを差し込みます。

・本製品のインク色表示ラベルとインクパックのラベルの色を合わせてください。

・インクパックケースの留め具が手前にある状態で差し込みます。

・奥までしっかり差し込んでください。



左のメッセージが表示されます。

・インク充てんを開始します。

⚠ 注　意

インク充てん中に、以下の動作を行わないでください。

- 製品の電源をオフにする
- 製品の電源ケーブルを抜く
- フロントカバーを開ける
- メンテナンスカバーを開ける
- 加圧アームを上げる

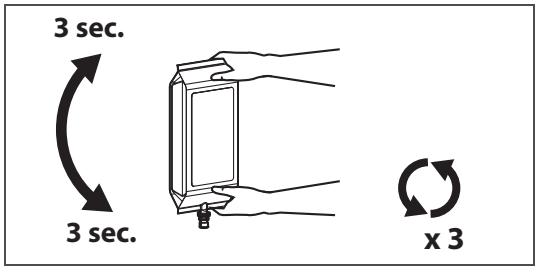
[8]

インク充てんが完了すると、左のメッセージが表示されます。

・インク充てんが完了しました。

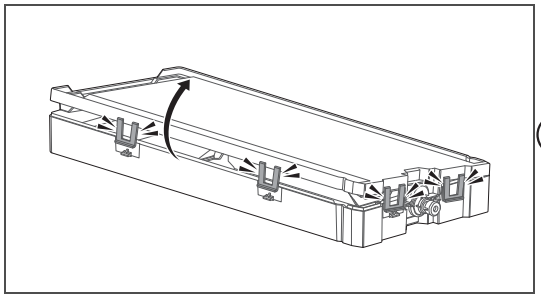
インクパックケース（1,000 ml / 2,200 ml）の場合

[1]



新しいインクパックを用意し、下記の方法でインクをかくはんします。
・差し込み口を上に向けて 3 秒待ちます。
・次に差し込み口を下に向けて 3 秒待ちます。
・3 回繰り返します。

[2]

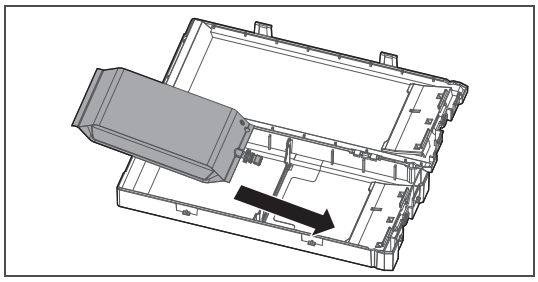


インクパックケースの留め具（4ヵ所）を外し、インクパックケースを開きます。

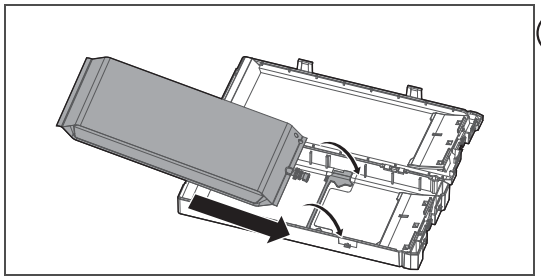
Important!

留め具を外すときは、無理な力を加えないでください。留め具が破損する原因となります。

[3]



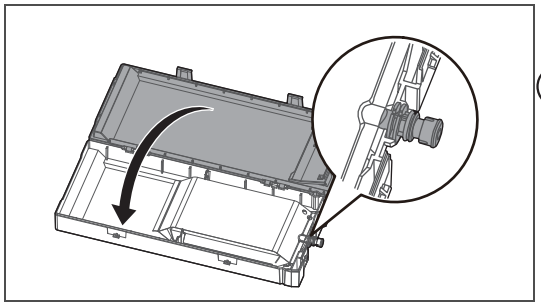
インクパックを取り付けます。



Important!

- 2L インクパックをご使用の場合は、インクパックケースの仕切り板のロックを解除してからインクパックを取り付けます。
- 1L パックをご使用の場合は、かならず仕切り板をロックしてください。

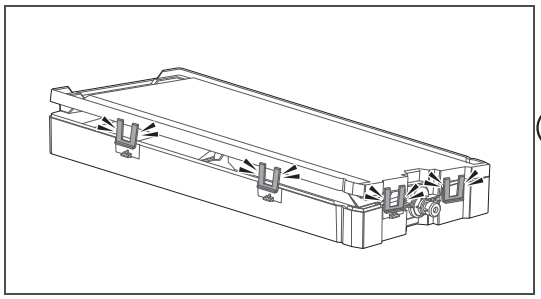
[4]



インクパックケースを閉じます。

Important!

インクパックの口が固定されていることを確認してください。
固定されていない場合、インクパックが正しく認識されません。



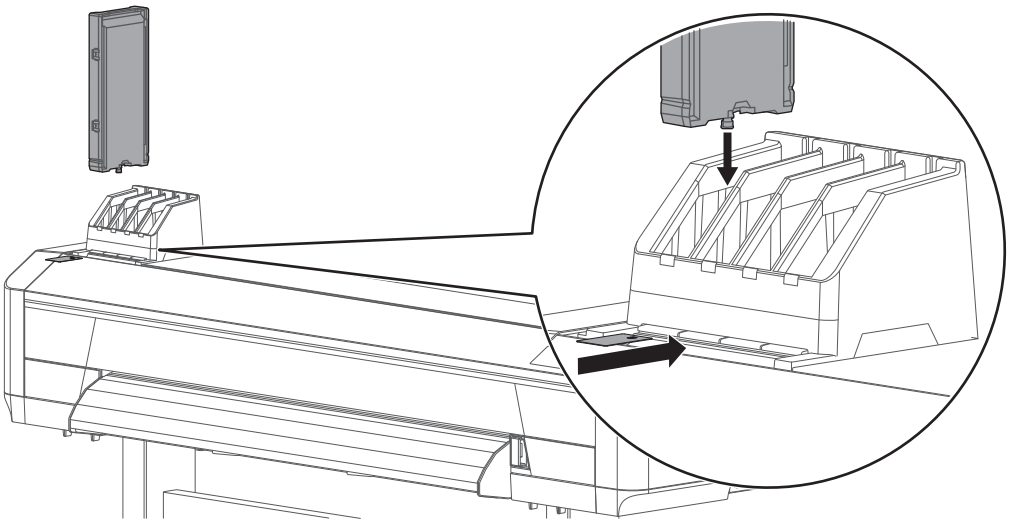
インクパックケースの留め具（4ヵ所）をしっかりと固定してください。

Important!

留め具が 4ヵ所とも固定されていることを確認してください。
固定されていない場合、インク漏れの原因となる恐れがあります。

[5] インクパックケースと S/C カードを差し込みます。

・本製品のインク色表示ラベルとインクパックのラベルの色を合わせてください。
・インクパックケースの留め具が手前にある状態で差し込みます。
・奥までしっかり差し込んでください。



インクジュウテンチュウ　　** %

左のメッセージが表示されます。
・インク充てんを開始します。

⚠ 注　意

インク充てん中に、以下の動作を行わないでください。

- 製品の電源をオフにする
- 製品の電源ケーブルを抜く
- フロントカバーを開ける
- メンテナンスカバーを開ける
- 加圧アームを上げる

[6]

メディア　ナシ
PG：Low1

インク充てんが完了すると、左のメッセージが表示されます。
・インク充てんが完了しました。

テスト印刷

以下の手順に従って、プリンターにメディアをセットします。

Important!

セットするメディアに合わせて、2 人以上で作業することをおすすめします。

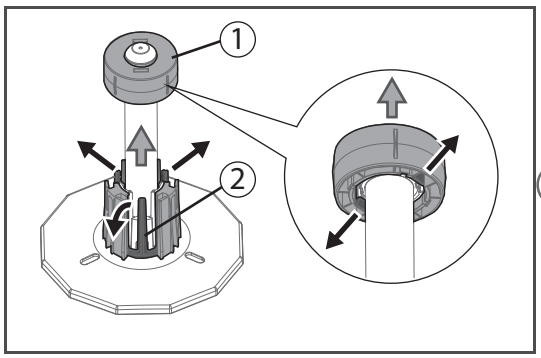
プリンターにメディアをセットする

1. メディアにフランジを取り付ける

必要なもの：

- メディア
- フランジ：2 個

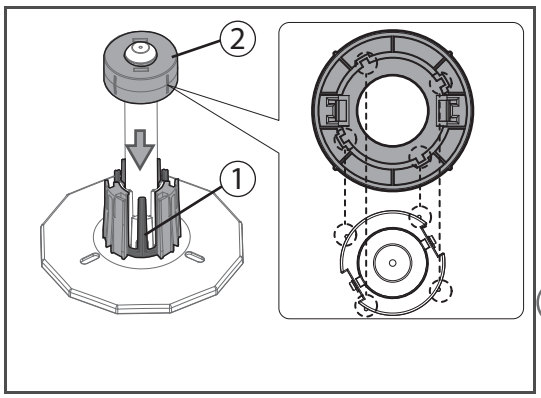
[1]



（内径が 2 インチのメディアを使用する場合のみ）フランジから 3 インチアダプターを取り外します。
①: アダプターのツメ（2 箇所）を開きながら、アダプターを引き抜きます。
②: アダプターのツメ（3 箇所）を開きながら、アダプターを引き抜きます。

Note

- ② のアダプターが外れない場合は、手順 2 を参照してフランジのハンドルを反時計回りに回転させて、ゆるめてから再度行ってください。
- 内径が 3 インチのメディアを使用する場合は、この手順は実行しないでください。

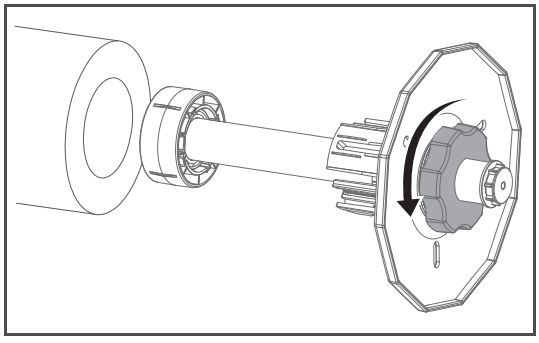


（内径が 2 インチのメディアから 3 インチのメディアに変更して使用する場合）フランジに 3 インチアダプターを取り付けます。
①: アダプターのツメ（3 箇所）とフランジの根本にある凹部を合わせてアダプターを取り付けます。
②: アダプターの内側にある切り欠き（4 箇所）と、フランジの先端にある突起（4 箇所）の位置を左図のように合わせてアダプターを取り付けます。

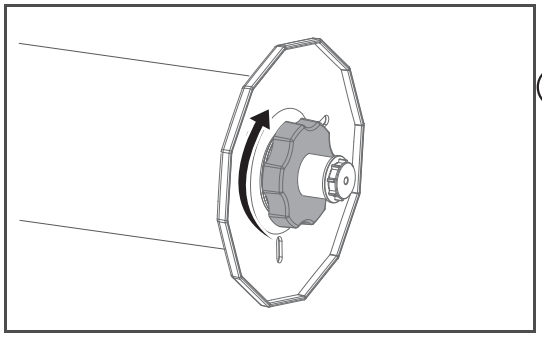
Note

- ② のアダプターの位置を合わせずに取り付けた場合、アダプターが固定されません。

[2]



メディア両端にフランジ（2 個）を取り付けます。
- **フランジのハンドルを反時計回りに回転させて、メディアに取り付けられる状態にします。**

[3] 

フランジのハンドルを時計回りに回転させて、フランジを固定します。

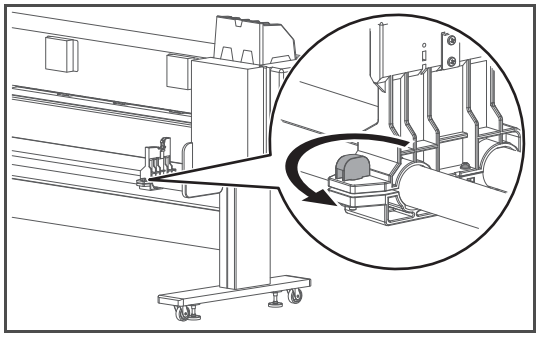
Important!

メディアがしっかりと固定されていることを確認してください。

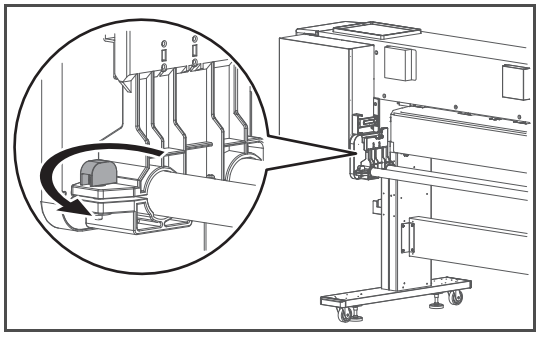
固定が甘い場合、印刷中にメディアがフランジから外れ、印刷品質に影響を与える恐れがあります。

2. ロール紙受けのトルクを設定する

ロール紙受けにトルクを設定するには、以下の手順で行います。

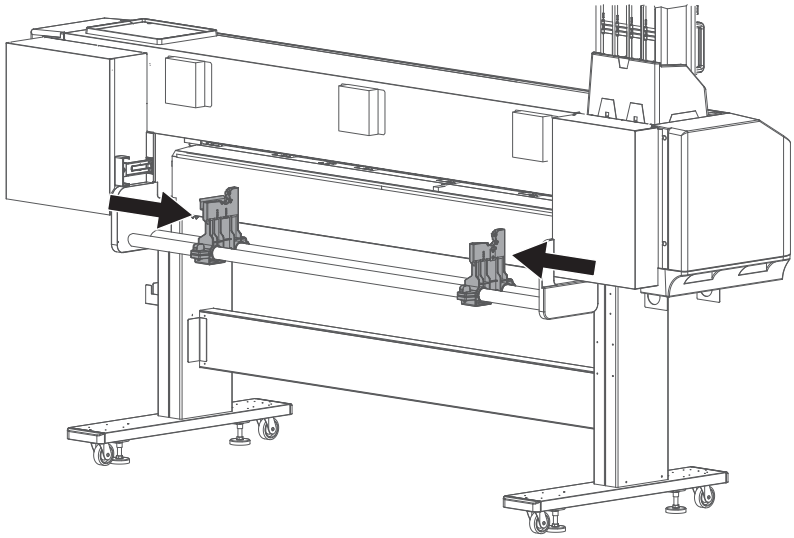
[1] 

ロール紙受け（右）のノブボルトを反時計回りに回転させて、緩めます。

[2] 

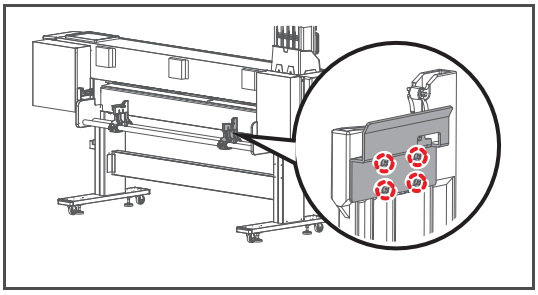
ロール紙受け（左）のノブボルトを反時計回りに回転させて、緩めます。

[3] 作業をしやすくするため、左右のロール紙受けをプリンターの中央に向かって 30cm ほど動かします。



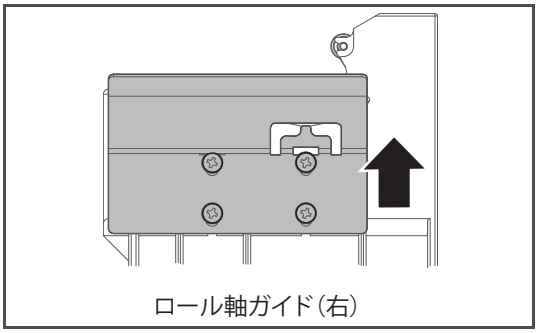
[4] 左右のロール紙受けのノブボルトを締めます。

[5]



背面から向かって右側のロール紙受けにある、ロール軸ガイドのネジをドライバーで緩めます。

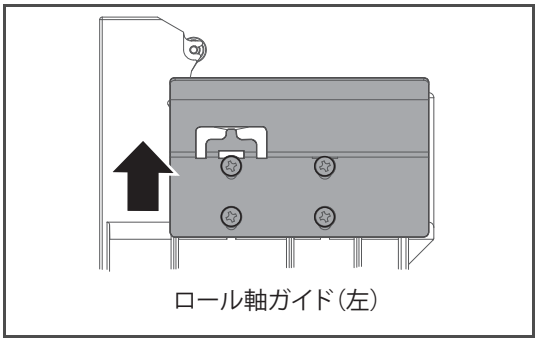
[6]



ロール軸ガイド(右)

ロール軸ガイドを上にずらして、突き当たったところでネジを締めます。

[7]



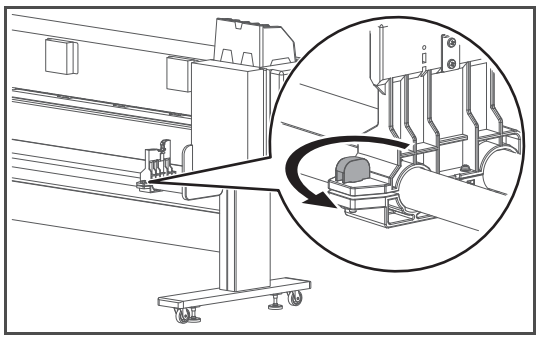
ロール軸ガイド(左)

向かって左側のロール紙受けにある、ロール軸ガイドも同様にずらしてからネジを締めます。

[8] 左右のロール紙受けのノブボルトを緩め、左右のロール紙受けの位置を元に戻します。

[9] 左右のロール紙受けのノブボルトを締めます。

3. ロール紙受けにメディアを取り付ける

[1] 

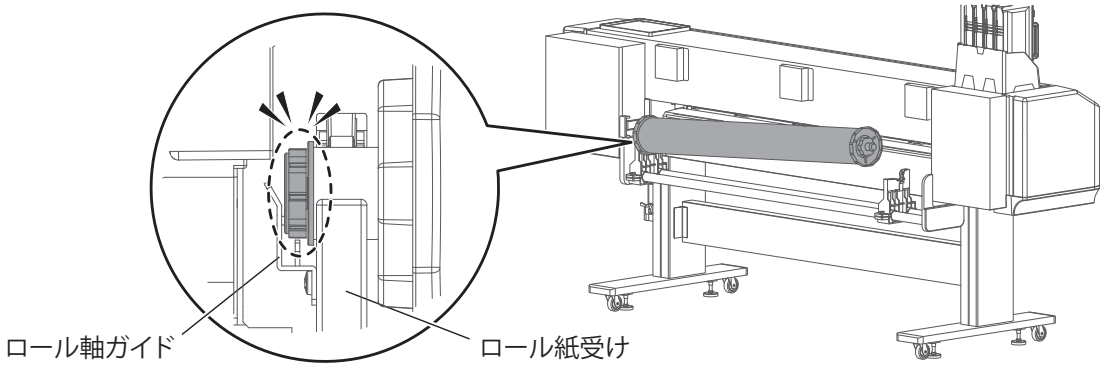
ロール紙受け（右）のノブボルトを反時計回りに回転させて、緩めます。

[2] メディアをロール紙受け（左）に取り付けます。取り付けはゆっくりと丁寧に行ってください。

・フランジ先を、下図のようにロール軸ガイドとロール紙受けの間にセットします。

Important!

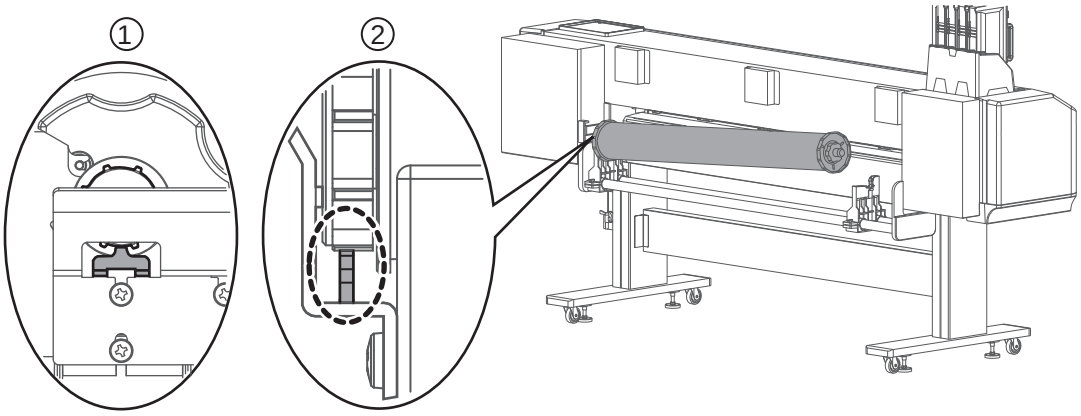
メディアの取り付け時につよい衝撃を与えると、部品が破損する恐れがあります。



トルクを設定した場合は、続けて下記を確認します。

①: 真横から見て、ロール軸ガイドの突起が、フランジ先の突起と突起の間にはまっていることを確認します。

②: 背面から見て、ロール軸ガイドの突起が、フランジ先にセットされていることを確認します。



Important!

ロール紙受け（左）を動かす場合は、左端から 450mm 以上右に動かさないでください。メディアの検出ができなくなります。

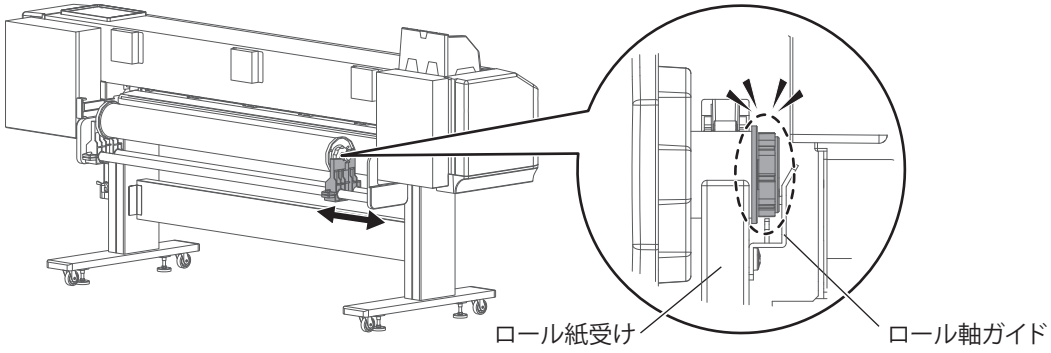
[3] メディアを右側のロール紙受けに取り付けます。取り付けはゆっくりと丁寧に行ってください。

・ロール紙受け（右）をメディアに合わせて移動させます。

・フランジ先を、下図のようにロール軸ガイドとロール紙受けの間にセットします。

Important!

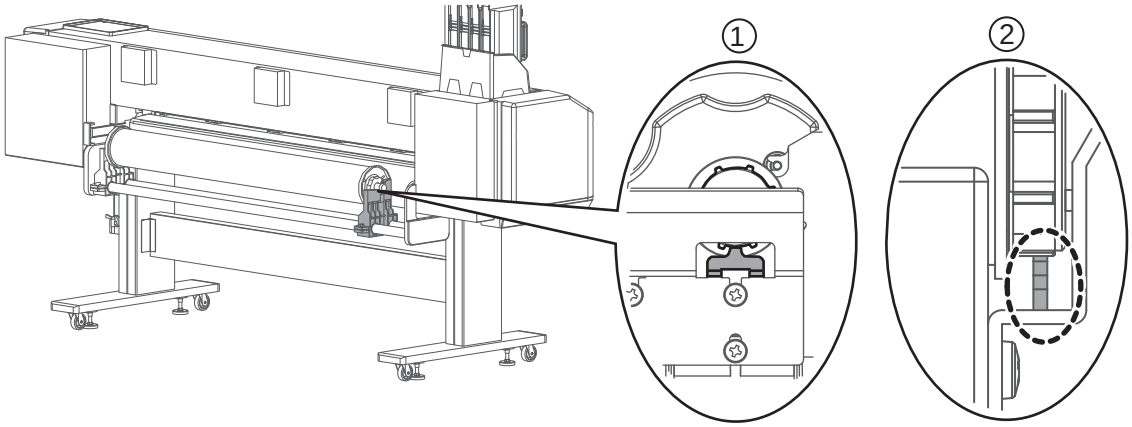
・メディアの取り付け時につよい衝撃を与えると、部品が破損する恐れがあります。

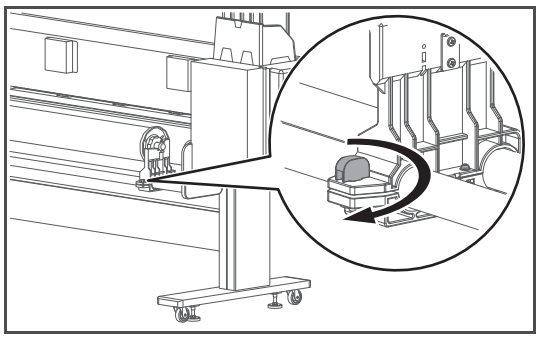


トルクを設定した場合は、続けて下記を確認します。

①：真横から見て、ロール軸ガイドの突起が、フランジ先の突起と突起の間にはまっていることを確認します。

②：背面から見て、ロール軸ガイドの突起が、フランジ先にセットされていることを確認します。



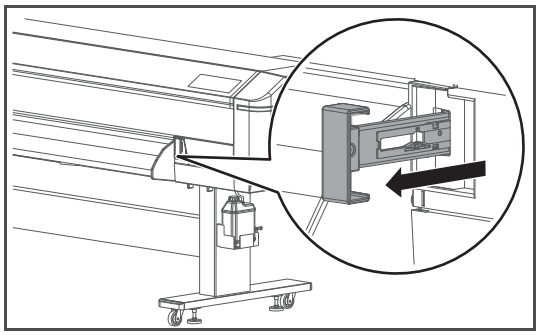
[4] 

ロール紙受け（右）のノブボルトを時計回りに回転させて、締めます。

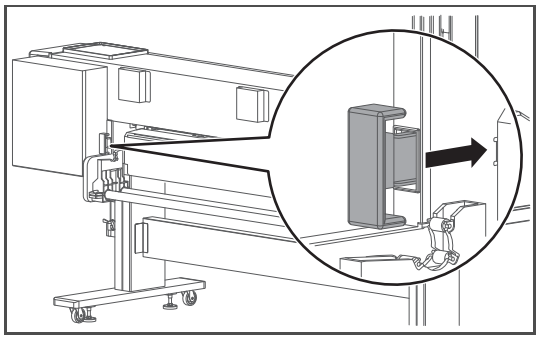
4. プリンターにメディアをセットする

[1] プリンターの電源がオンになっていることを確認します。

[2]



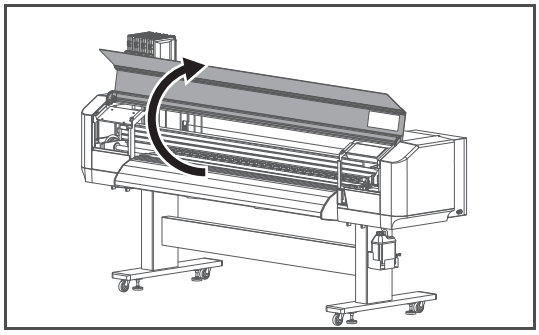
メディアセットレバーを一番手前まで引いて、加圧アームを上げます。



メディアセットレバーは、プリンター背面からも操作可能です。

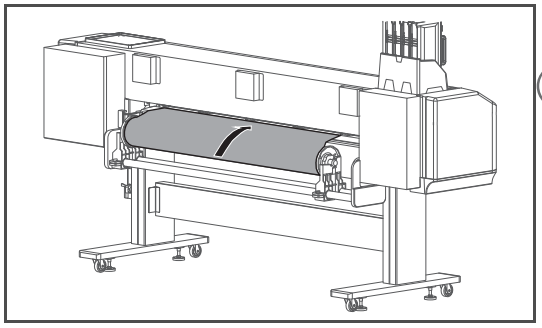
・奥に押し込むと、加圧アームが上がります。

[3]



フロントカバーを開きます。

[4]

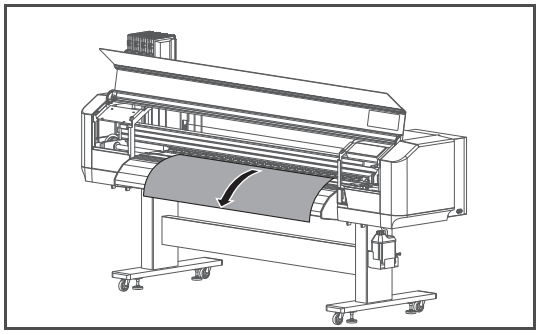


メディアを給紙スロットに差し込みます。

Note

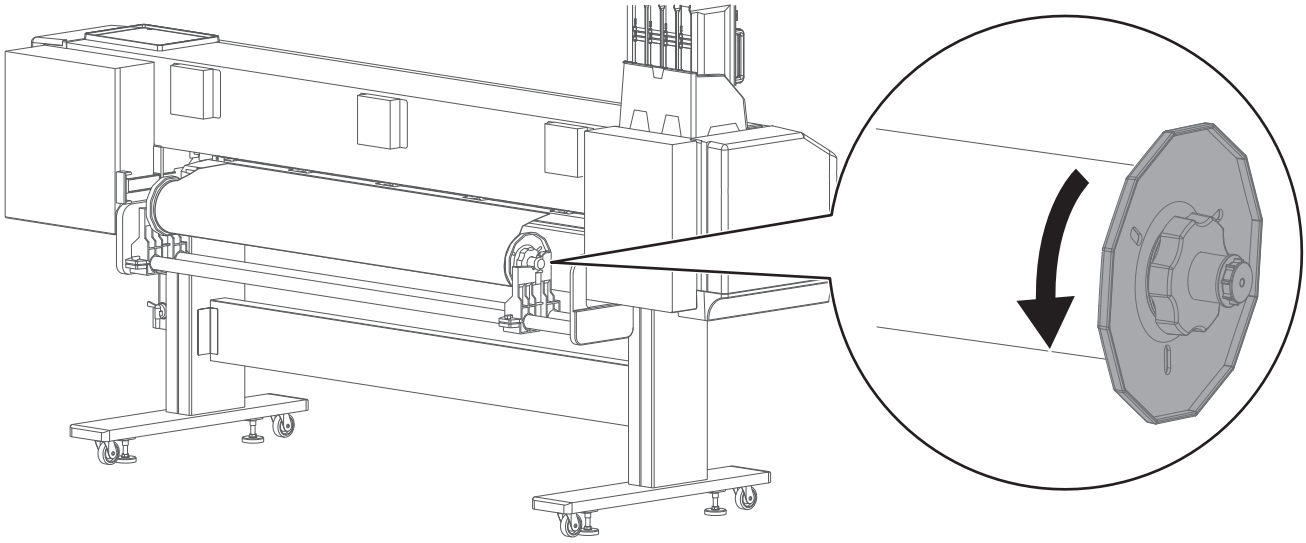
メディア端に巻乱れがある場合は、巻きなおしてからセットしてください。

[5]



正面側の給紙スロットから、メディアを約 1m 引き出します。

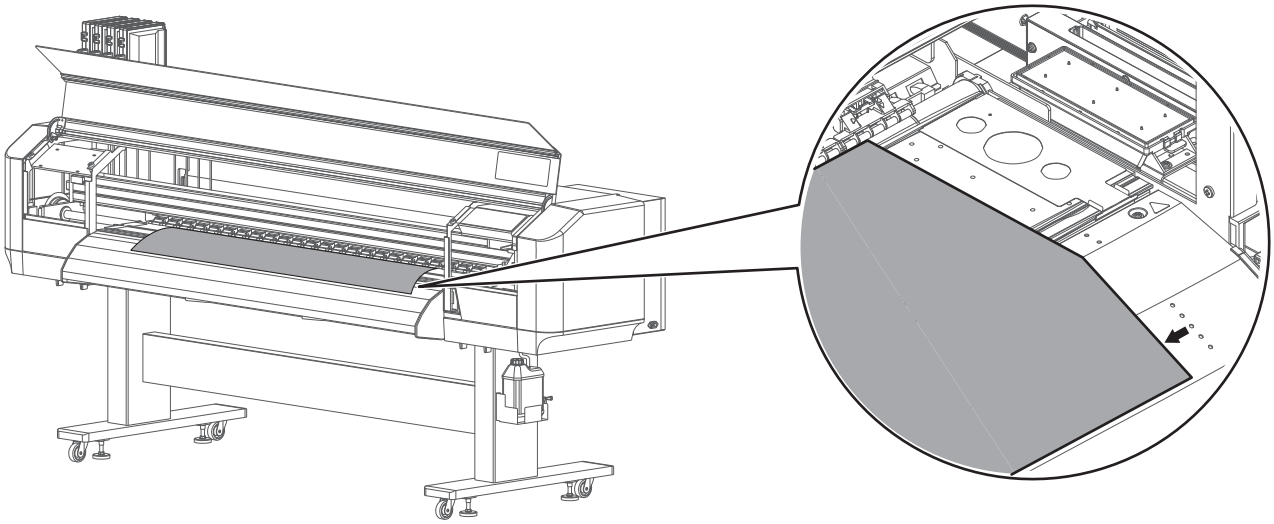
[6] メディア先端を押さえながら、ロール紙受けのフランジを回してメディアを少し巻き戻し、メディアのたわみおよび斜行を取り除きます。



Note

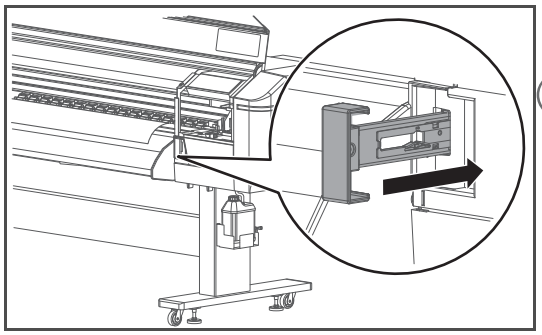
メディアを巻き戻している途中で手を放すと、メディアが給紙スロットから抜けて製品背面側に落ちることがあります。

[7] メディアの右端がメディアセット目安よりも右側に入っていないことを確認します。
メディアセット目安よりも右側にメディアがある場合、印刷品質に影響する恐れがあります。



[8] 必要に応じて、加圧アームの加圧力を個別に変更します。
☞取扱説明書「加圧アームの加圧力を個別に弱める / キャンセルする」

5. メディアをセットしたら・・・

[1] 

メディアセットレバーを奥に押し込んで、加圧アームを下げます。

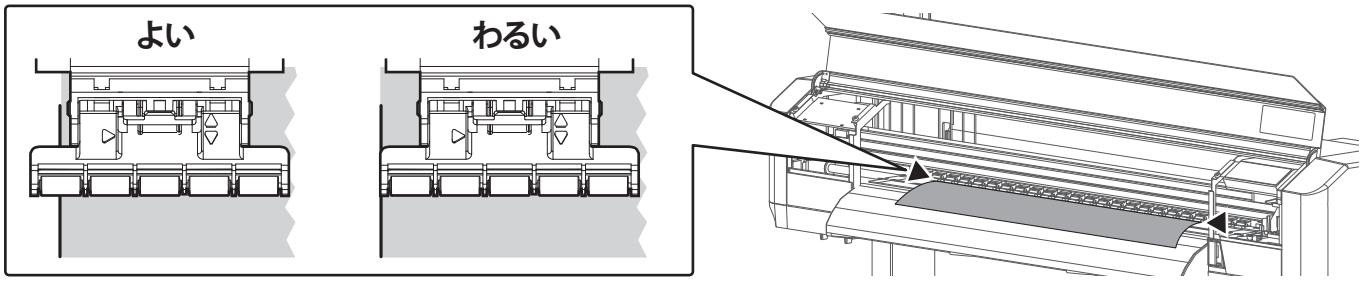
Note

メディアセットレバーは、「通常」と「強」の 2 段階に加圧力を変更できます。通常のご使用では、手前側のカチッと手ごたえがするところで止め、「通常」の加圧力にします。

☞取扱説明書「メディア搬送時のメディア全体にかかる加圧力を変更する」

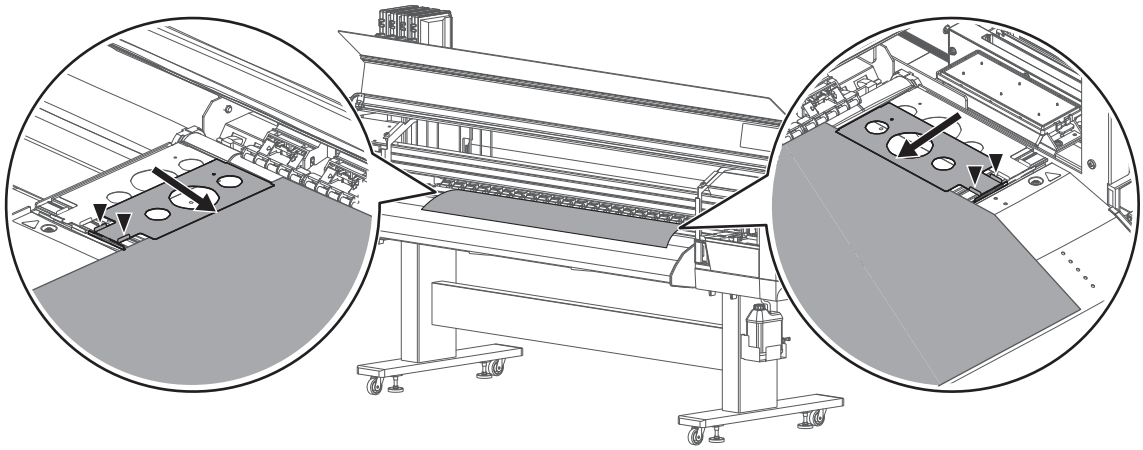
[2] メディアの両端が加圧アームのローラーに押さえられていることを確認します。

・下図の「わるい」に当てはまる場合は、メディアセットレバーを一番手前まで引いてから 「ロール紙受けにメディアを取り付ける」P. 28 を参照して左右のロール紙受けの位置を変更してください。（メディア両端で確認すること）



[3] メディアの両端にエッジホルダーをセットします。

・エッジホルダーの手前にあるつまみを持ちあげると、エッジホルダーの中央が浮きます。
エッジホルダーの中央を浮かせながら、エッジホルダーをメディアの端に被せるように動かしてください。



Note

エッジホルダーはセットするメディアによって、取り付け方が異なります。

☞取扱説明書「メディアに合わせてエッジホルダーの向きを変更する」

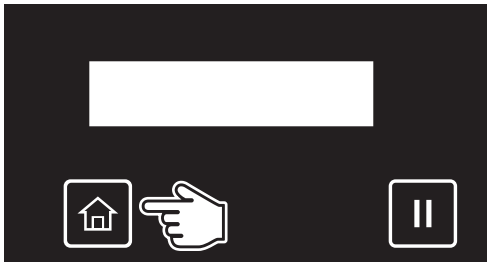
・通常は下図のようにセットしてください。エッジホルダー上の穴が外側に位置します。
メディアはエッジホルダーによって浅く押さえられます。

・薄いメディアやコシのないメディアを印刷する場合は、下図のようにエッジホルダーの左右を入れ替えてセットしてください。
エッジホルダー上の穴が内側に位置します。メディアはエッジホルダーによって広く押さえられます。

Important!

初期設定では、メディアの端から 5 mm **の部分から印刷を行います。エッジホルダーとメディアの重なり部分がインクで汚れる恐れがあるため、サイドマージンを** 10mm **以上に設定してください。**

[4]



([Home] **キー）をタップします。**

[5]

キーをタップします。

[6]

キーをタップして、左の表示にします。

・**キーをタップします。**

[7]

印刷時の左右のマージン（サイドマージン）を 10mm 以上に設定します。

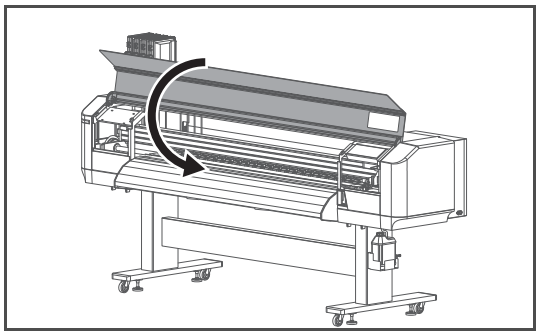
・ ▲ キー / ▼ キーで入力します。

・ ↵ ([Enter] キー）をタップします。

Note

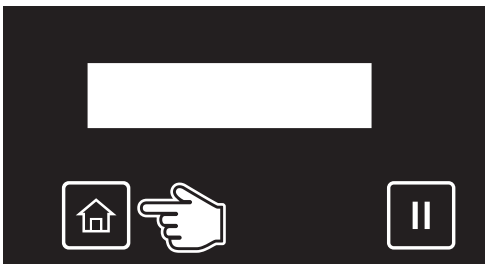
サイドマージンは 5mm ～ 25mm の範囲で設定できます。

[8]



フロントカバーを閉じます。

[9]



⌂ ([Home] キー）をタップします。

[10]

「ユーザ： Type ** OK?」と表示されます。

・使用するユーザ定義を、▲ キー / ▼ キーで選択します。

・ ↵ ([Enter] キー）をタップして、メディアイニシャルを実行します。
メディアセットを終了します。

ノズルチェックとクリーニング

ノズルチェックを印刷し、ノズル抜けがあるときは、クリーニングをしてください。

本製品のノズルチェックには下記の種類があります。

- ノズルチェック：「設定 29：ノズル選択」で設定したノズルを使用してノズルチェックパターンを印刷します。
- ノズルチェック F：すべてのノズルを使用してノズルチェックパターンを印刷します。
- 自動ノズルチェック：吐出検知ユニットのセンサーによってノズル抜けの確認を行います。

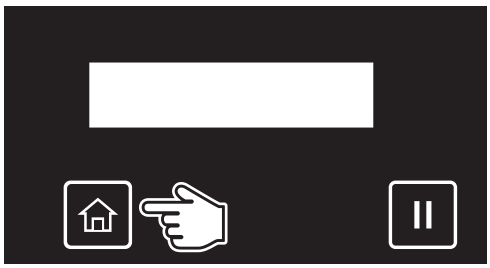
テスト印刷ではすべてのノズルを使用して印刷するノズルチェック F を行います。

1. ノズルチェック F の手順

[1] ノズルチェックで使用するメディアをセットします。

☞ 「テスト印刷」P. 25

[2]



([Home] キー）をタップします。

[3]

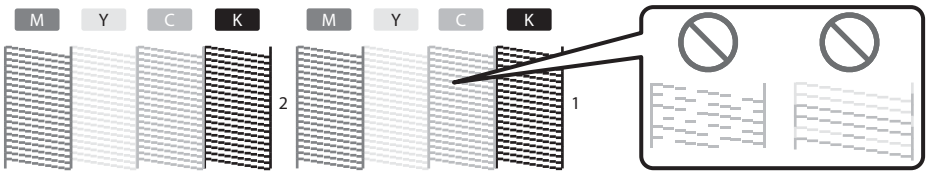
・ キーをタップして、左の表示にします。
・ キーをタップします。

[4]

・ キーをタップして、左の表示にします。
・ ([Enter] キー）をタップします。

[5] パターンを確認します。

・ノズル抜けがある場合は、「クリーニングの手順」P. 36 に進みます。
・ノズル抜けがない場合は、印刷を開始できます。



Note

・プリンター情報（印刷時刻、シリアル番号、ファームウェアバージョン）が印刷されます。

Important!

初期充てん終了直後にノズルチェックを行うと、次のような現象が発生する場合があります。

・印刷した線がかすれる

・部分的に印刷されない

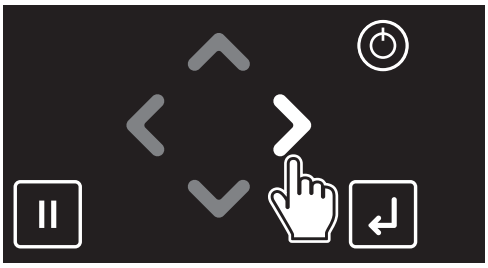
このような場合には、取扱説明書「メニュー 3：クリーニング」に従って、微量充てんを行ってから、印刷結果を確認してください。

微量充てんを行っても印刷結果に変化が無い場合は、製品を 1 時間以上放置後、再度クリーニングまたは微量充てんを行ってから印刷結果を確認してください。

それでも印刷結果に変化が無い場合は、「お問い合わせ先」P. 44 までご連絡ください。

2. クリーニングの手順

[1]



キーをタップします。

[2]

実行するクリーニングモードを、キー / キーで選択します。

([Enter] キー）をタップします。

・クリーニングを開始します。

[3] もう一度、ノズルチェックを行います。

☞「ノズルチェック F の手順」P. 35

・ノズル抜けが直らない場合は、通常クリーニングを繰り返してください。

「微量」「強力」「微量充てん」「初期充てん」については、取扱説明書「ヘッドクリーニング」を参照してください。

Note

・コンピューターと接続して印刷を行う前に、IP アドレス、サブネットマスクとゲートウェイの設定を行ってください。

☞取扱説明書「設定 20：IP アドレス」、「設定 21：サブネットマスク」、「設定 22：ゲートウェイ」

・強力クリーニングや微量充てんを行ってもノズル抜けが直らない場合は、「設定 29：ノズル選択」でノズル抜けのないノズルを選択することができます。

☞取扱説明書「設定 29：ノズル選択」

Important!

実際のデータで印刷を行う前に、かならずメディア送り補正を行ってください。

☞取扱説明書「メディア送り補正」

MUTOH Status Monitorのインストール

コンピューターと接続して印刷を行う前に、かならず MUTOH Status Monitor (MSM) をインストールしてください。
MSM のインストール後は、MSM の取扱説明書に従って、初期設定とプリンター登録を行ってください。
☞ MUTOH Status Monitor **取扱説明書「初期設定」**

各種ソフトウェアやマニュアルは MUTOH Club からダウンロードすることができます。

- MUTOH Club からダウンロードできるソフトウェアやマニュアルは以下のとおりです。

MUTOH Status Monitor (MSM)	本製品のステータス情報を確認したり、各種設定を変更することができます。 テスト作画を行うこともできます。
マニュアル （プリンターとソフトウェア）	以下のマニュアルが PDF 形式で入っています。 • XPJ-1642WR 取扱説明書 「使い方とメンテナンス方法」 • XPJ-1642WR スタートアップガイド（本書） • MUTOH Status Monitor 取扱説明書

Important!

- **MSM は、かならず MUTOH Club からダウンロードされたものをご使用ください。**

[1] **本製品に同梱の「ユーザー登録と各種ダウンロードのお願い」シートを見ながら、ユーザー登録とダウンロードを行います。**

[2] **ダウンロードした** zip **ファイルを解凍し、その中の** setup.exe **をダブルクリックします。**

安全にお使いいただくために

大切なお知らせ

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。
この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

受信障害について

本製品は弱い電波を出すので正しく設置・使用されていない場合には、ラジオやテレビの受信障害の原因となることがあります。
もし本製品がラジオ・テレビ受信の障害原因と思われましたら、次の方法を組み合わせて防止してください。

- 受信アンテナやフィーダーの方向を変えてみる
- 本製品の使用方向を変えてみる
- 受信機と本製品の距離を変えてみる
- 本製品と受信機とは別系統の電源ラインを使用してみる

安全表示について

警告と注意の意味

警　告	**回避しないと死亡または重傷を招く可能性がある危険な状況の場合に使用します。**
注　意	**回避しないと軽症または中程度の損害を招く可能性がある危険な状況の場合、または製品の全部または一部が損傷する場合に使用します。**

図記号の意味

警告記号	意味
	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この表示は、かならず実行していただく「強制」内容です。

Note

安全表示中の本体の各部名称については、取扱説明書の「各部の名称」をご覧ください。

感電・ショート・火災について

⚠ 警　告

湿気やホコリの多い場所に設置しないでください。
感電・火災の恐れがあります。

破損した電源ケーブルを使用しないでください。
感電・火災の原因になります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。

以下の場所には、アース線を接続しないでください。
- **ガス管**
  引火や爆発する恐れがあります。
- **電話線用アース線および避雷針**
  落雷時に大量の電流が流れる可能性があります。
- **水道管および蛇口**
  配管の途中がプラスチック製になっている場合は、アースの役目を果たしません。

通風孔などの開口部から製品内部に、金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落としたりしないでください。
感電・火災の原因となります。

異物や水などの液体が製品内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。
感電・火災の原因となります。
すぐに電源ボタンをオフし、電源プラグをコンセントから抜いて、カスタマーサポートまでご連絡ください。

毛布やテーブルクロスのような布を本製品にかけ、通風孔をふさがないでください。
通風孔をふさぐと本製品内部に熱がこもり、火災の恐れがあります。

電源ケーブルを取り扱う場合は、以下の点に注意してください。
- **電源ケーブルを加工しないこと。**
- **電源ケーブルの上に重いものを載せないこと。**
- **電源ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないこと。**
- **電源ケーブルを熱器具の近くに配線しないこと。**

電源プラグを取り扱う場合は、以下の事項に注意してください。
取り扱いを誤ると火災の原因となる恐れがあります。
- **電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。**
- **電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。**

メディアガイドに可燃性の液体をかけないでください。
火災の原因となります。

かならず指定の電源を使用してください。
指定外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。

電源コンセントから直接電源を取ってください。
タコ足配線はしないでください。
発熱し、火災の原因となります。

すべての電源ケーブルは、同じ電圧のコンセントに接続してください。
異なる電圧のコンセントに接続した場合、電気回路が破損する恐れがあります。

電源はかならずアース端子付きの専用コンセントを使用し、アース線に接続してください。
アース線を接続しないと、感電・火災の原因となります。

アース線は、かならず以下の規格を満たすアース線に接続してください。
- **電源コンセントのアース端子**
- **銅片を深さ** 650 mm **以上の地中に埋めたアース線**
- D **種接地工事を行っている接地端子**

かならず指定の電源ケーブルを使用してください。
- 指定品以外の電源ケーブルを使用すると、感電・火災の原因となります。
  指定の電源ケーブルについては、販売店までお問い合わせください。
- 電源ケーブルは保護接地端子を備えたものとし、確実にコンセントに接続してください。
- 電源ケーブルは使用する国の安全規格、電源電圧、プラグ形状に適合したものを使用してください。

各種コード（ケーブル）は、本書で指示されているとおりに配線してください。
配線を誤ると、火災の恐れがあります。

ネジで固定してあるカバー類は、絶対に開けないでください。
感電または故障する恐れがあります。

本製品を長期間使用しない場合は、安全のためかならず電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品内部に水気が入らないように注意してください。
電気回路がショートする恐れがあります。

設置について

⚠ 警　告

本製品を以下の場所には設置しないでください。
転倒・転落により、けがをする恐れがあります。
- ぐらついた台の上
- 傾いている場所
- 他の機械等の振動が伝わる場所

⚠ 注　意

本製品を傾けたり、上下を逆にしないでください。
内部のインクが漏れる恐れがあります。
また移動後の正常動作が保証できません。

本製品を開梱または移動する場合は、かならず 4 人以上で作業してください。

この機器は子供がいる可能性のある場所での使用には適していません。

本製品は水平の状態を保ったまま移動してください。

本製品を梱包箱から取り出すときは、かならずビニールを外してください。
ビニールを付けたまま持ち上げると、手を滑らせて落下、破損させる恐れがあります。

取り扱いについて

⚠ 警　告

本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。
転倒・転落によりけがをする恐れがあります。

⚠ 注　意

クリーニングワイパーおよびプリントヘッド外周の清掃時は、以下の点に注意してください。
- クリーンスティックは再利用しないでください。
  付着したホコリ等により、プリントヘッドが破損する恐れがあります。

プリントヘッド外周を清掃するときは、以下の点に注意してください。
- プリントヘッドのノズル面には絶対に触れないでください。
  プリントヘッドが破損する恐れがあります。
- クリーンスティックの先端には手を触れないでください。
  油脂が付着してプリントヘッドが破損する恐れがあります。
- クリーンスティックの先端に水などを絶対に付けないでください。
  プリントヘッドが破損する恐れがあります。

取り扱いについて（続き）

クリーニングワイパー清掃時は、以下の点に注意してください。
- **クリーニングワイパーおよびヘッドキャップユニットには手を触れないでください。**
  油脂が付着してヘッドクリーニングが正常に行えなくなる恐れがあります。
- **かならずクリーンスティックを使用して、乾拭きで拭きとってください。**
  クリーンスティックに水などを付けると、プリントヘッドが目詰まりする原因となります。

印刷中およびヒーター動作中はメディアガイドに触れないでください。
メディアガイドは高温になっており、やけどする恐れがあります。

インク充てん中に、以下の動作を行わないでください。
- **本製品の電源をオフにする**
- **本製品の電源ケーブルを抜く**
- **フロントカバーを開ける**
- **メンテナンスカバーを開ける**
- **加圧アームを上げる**

シンナー、ベンジン、アルコール等の揮発性薬品は使用しないでください。
塗装を傷める原因となります。

印刷終了直後は、メディアガイドが高温になっています。
メディアガイドが十分に冷めてから作業を行ってください。

消耗品について

⚠ 警　告

本製品から出る廃液は、産業廃棄物（事業系 19 品目の内）の廃油（廃インキ）に該当します。
廃棄物処理法および各自治体の条例に基づき、適正な廃液処理が義務付けられます。
廃液処理業者に処理を委託してください。

⚠ 注　意

インクパックを分解しないでください。
分解すると、インクが目に入ったり皮膚に付着し、炎症やアレルギー反応を起こす場合があります。

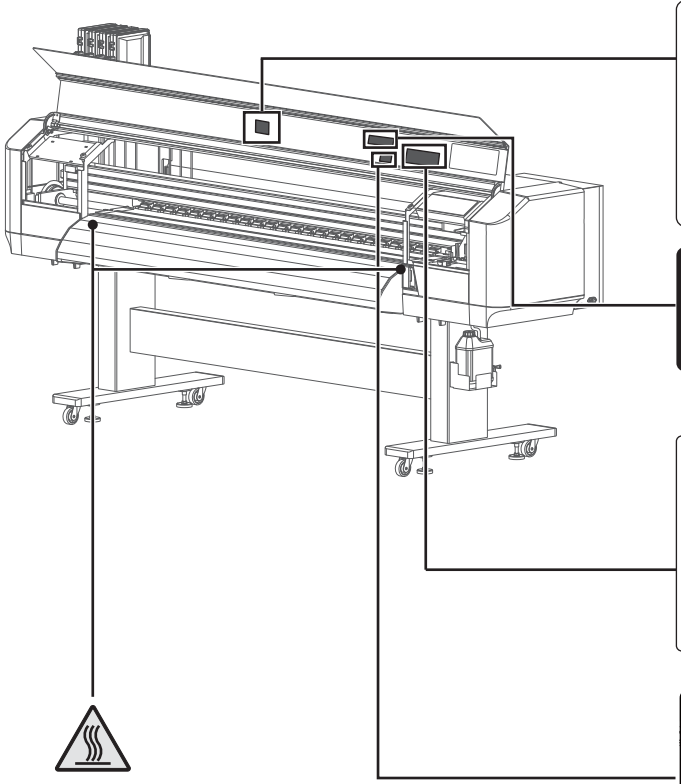
インクパックを落としたり、強く叩いたりしないでください。
インクが漏れる場合があります。

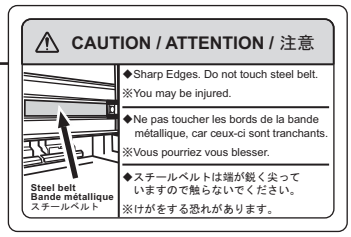
インクパックをはじめて使用する前に、かならず安全データシート（SDS）をお読みの上、作業を行ってください。

インクパックを取り扱うときは、インクが目に入ったり、皮膚に付着しないように注意してください。
目に入ったり皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。
そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こす恐れがあります。
万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。

警告ラベルについて

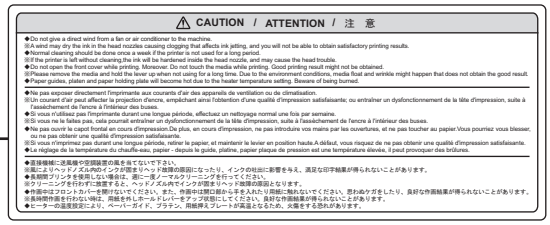
本製品の危険箇所には、警告ラベルを貼っています。ラベルの内容を理解し、かならずお守りください。
ラベルが剥がれたり汚れたりした場合は、交換のため販売店にご連絡ください。



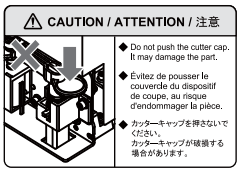


スチールベルト接触禁止ラベル

カッター注意ラベル



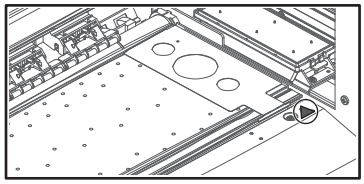
プリンター取扱注意ラベル



カッターキャップ注意ラベル

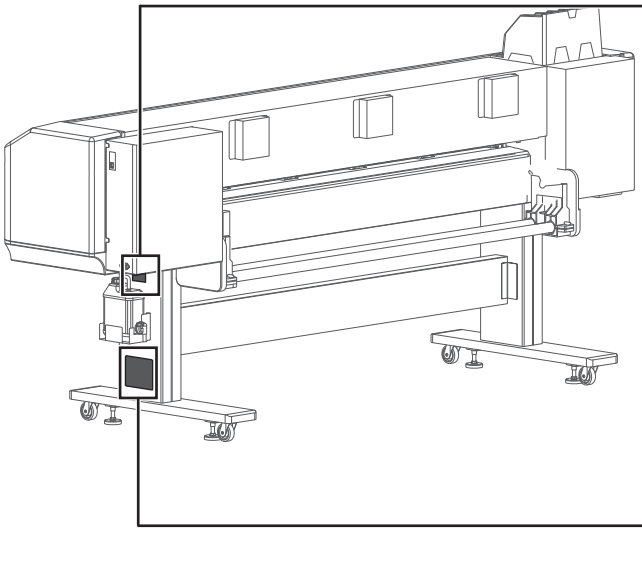
カッターの刃を交換するときに、カッターキャップを押さないでください。

高温注意ラベル

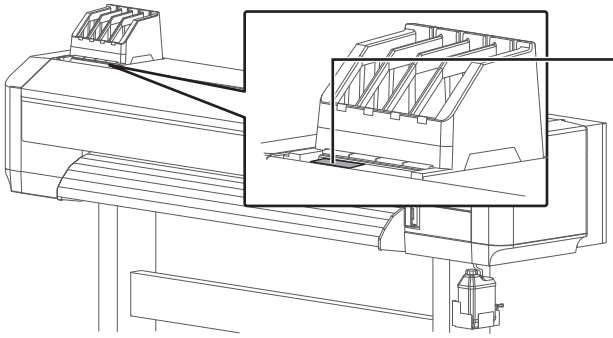


この部分に触れると指をやけどするおそれがあります。
スイッチを切った後、30分経過するまで触れないでください。

廃液チューブ取扱注意ラベル



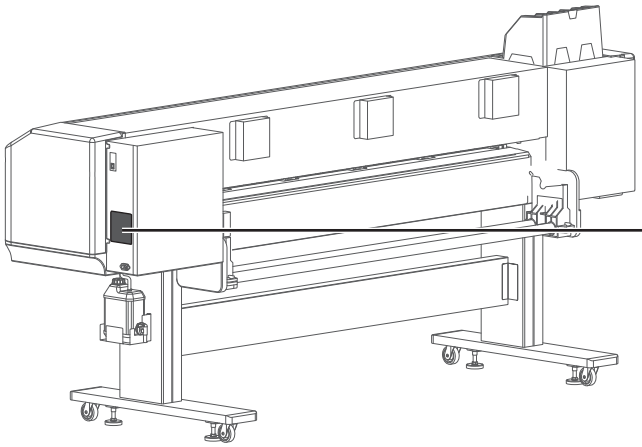
廃液注意ラベル



保護具ラベル
（マスク・保護メガネ・手袋・保護衣）

インクを取り扱うときは保護具を
着用してください。

定格銘版



MUTOH

MODEL
型式

SERIAL NO.
製造番号

VOLTAGE 100-120V～/ 200-240V～
FREQUENCY 50 / 60 Hz
CURRENT 11.5 A / 6 A

Complies With
UL 62368-1
CSA C22.2 No. 62368-1
E112544

定格電圧 100V～
定格周波数 50 / 60 Hz
消費電流 11.5 A

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
(1) this device may not cause harmful interference, and
(2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

CAN ICES-3 (A) / NMB-3 (A)

MUTOH INDUSTRIES LTD.
MADE IN JAPAN

注意

この装置は、クラスＡ機器です。
この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。
この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

武藤工業株式会社
日本製

- Apparatet må tilkobles jordet stikkontakt
- Apparaten skall anslutas till jordat uttag
- Laite on liitettävä suojakoskettimilla varustettuun pistorasiaan
- Apparatets stikprop skal tilsluttes en stikkontakt med jord, som giver forbindelse til stikproppens jord

定格電圧表示の"~"マークは交流電圧記号です。

以下のマークは中国の安全規格に対応したものです。

汉文	仅适用于海拔2000m以下地区安全使用。
藏文	《2000m ཡོངས་ཁྱོན་གྱི་ས་ཁོངས་ཀྱི་ས་གནས་ཚང་ཏུ་སྤྱོད་འཁོར་བྱེད་ཀྱི་ཡིན་ཏེ།》
蒙古文	“ᠳᠡᠯᠬᠡᠢ᠎ᠳᠡᠭᠡᠷ᠎ᠡᠯᠠᠨ᠎ᠠᠯᠢᠪᠠ᠎ᠳᠤ᠂2000ᠮᠠᠲᠷ᠎ᠤᠨ᠎ᠳᠤ᠋ᠤ᠎ᠨ᠎ᠭᠠᠵᠠᠷ᠎ᠳᠤ᠋ᠤ᠎ᠨ᠎ᠬᠡᠪ᠎ᠢᠷᠡᠯᠲᠡ᠎ᠳᠡ᠋ᠭᠡᠭᠰᠡᠨ᠎ᠤ᠋ᠨ᠎ᠳᠤᠤᠷ᠎ᠳᠤ᠋ᠤ᠎ᠨ᠎ᠬᠡᠷᠡᠭᠯᠡᠭᠡ

お問い合わせ先

本製品でお困りのことがございましたら、MUTOH カスタマーサポートまでお問い合わせください。

MUTOH カスタマーサポート

TEL : 0120-174911

FAX : 0120-184711

E-mail : gsup@mutoh.co.jp

営業日：月～金曜日（土、日、祝祭日、弊社指定休日を除く）

受付時間：午前 9:00 ～ 12:00、午後 1:00 ～ 5:00

MUTOH